

下関市立考古博物館年報 5

—平成11年度—

2000年刊



発刊にあたって

下関市立考古博物館の第5年次を終了するにあたり、本館の施設ならびに平成11年度の展示、調査研究、教育普及といった博物館活動の概要についてご紹介いたします。

本館は平成7年5月に開館して以来、関係各方面からのご支援とご協力を賜り、館内展示環境の整備と博物館活動を進めて参りました。来年度は開館5周年を迎ますが、本館をとりまく状況は、緊縮財政の折から決して楽観的なものではありません。しかしながら、生涯学習の時代を迎え、よりいっそう市民の皆様に親しまれる博物館をめざし、職員一同年間活動に対処していく所存ですので、関係各位におかれましても、本館の発展のためにご助言・ご指導下さるようお願い申し上げます。

2000年3月

館長 石川 啓



目 次

1	沿革	1
2	遺跡公園等建設推進委員会組織	2
3	下関市立考古博物館の設置等に関する条例	3
4	下関市立考古博物館の観覧料等に関する規則	5
5	博物館建設事業費	7
6	基本構想	8
7	常設展示	11
8	屋外展示	16
9	館内の施設	17
10	管理運営	21
	(1)組織・職員	
	(2)予算	
	(3)博物館協議会委員	
11	調査研究	22
	(1)先進地視察・資料調査・研修	
	(2)研究紀要の発行	
12	展示	23
	(1)企画展	
	(2)小企画展	
	(3)綾羅木郷遺跡発見100周年記念展	
13	教育普及	26
	(1)講師派遣	
	(2)一般教養講座	
	(3)体験学習	
	(4)博物館実習生の受け入れ	
	(5)刊行物	
	(6)広報活動	
14	資料の貸し出し	29
	(1)展示品の貸し出し	
	(2)写真の貸し出し	
15	入館者状況	30
	(1)月別入館者数	
	(2)都道府県別入館者数	
	(3)学校団体	
	(4)博物館施設使用団体	
	(5)行政視察団体	
	(6)任意アンケート	
16	購入図書	35
17	図書寄贈先一覧	36

1 沿革

- 平成2年 遺跡公園等建設推進調査委員会を設置
- 平成2年10月 第1回遺跡公園等建設推進委員会【概要説明・協議】
- 平成3年 3月 第2回遺跡公園等建設推進委員会
- 平成4年 1月 下関市考古資料館(仮称)の位置づけおよび活動について協議
遺跡公園等建設推進事業に伴う下関市考古資料館(仮称)建設事業計画決定
- 平成4年 2月 第3回遺跡公園等建設推進委員会
【下関市考古資料館(仮称)基本構想、展示計画について協議】
△ 下関市考古資料館(仮称)展示基本設計委託協議会実施
- 平成4年 3月 第4回遺跡公園等建設推進委員会【展示基本計画業者の審査】
- 平成4年 4月 下関市考古資料館(仮称)展示基本計画業者を決定
- 平成4年 6月 第5回遺跡公園等建設推進委員会
【下関市考古資料館(仮称)建設ならびに展示基本計画について協議】
- 平成4年 8月 第6回遺跡公園等建設推進委員会
【下関市考古資料館(仮称)建設基本計画案、展示基本計画について協議】
△ 第7回遺跡公園等建設推進委員会【展示構想に伴う建築実地設計について協議】
- 平成5年 3月 下関市考古資料館(仮称)建設開始
- 平成6年 6月 名称を「下関市立考古博物館」と決定
△ 主体工事完了、展示資料の選定およびレプリカ・模型の製作開始
- 平成6年12月 下関市議会において下関市立考古博物館設置条例を可決
- 平成7年 3月 下関市立考古博物館完成
- 平成7年5月13日 下関市立考古博物館開館

2 遺跡公園等建設推進委員会組織

	氏 名	所 属	役 職 名	備 考
委 員 長	多賀三郎	下関市教育委員会	教育長	平成2~3年度
	石川 啓	同 上	同上	平成4~6年度
委 員	横山 浩一	福岡市立博物館	館長	平成2~6年度
	金閑 恕	天理大学	教授	同上
	佐原 真	国立歴史民俗博物館	副館長	同上
	毛利 正夫	(財)日本博物館協会	専務理事	同上
	中島 恒雄	郷土の文化財を守る会	会長	同上
	山田 泰久	山口県教育委員会	文化課長	平成2~4年度
	小松 正憲	同 上	同上	平成5~6年度
	中村 徹也	山口県埋蔵文化財センター	所長	平成2~6年度
	徳永 利孝	下関市立向井小学校	校長	平成2~3年度
	米崎 忠	下関市立向井小学校	校長	平成4~6年度
	福田 常雄	下関市立安岡中学校	教頭	平成2~3年度
	伴 恒雄	下関市立勝山中学校	教頭	平成4~6年度
	吉野 泰全	下関土木建築部	建築課長	平成2~5年度
	松田 和夫	同 上	同上	平成6年度
	万谷 智義	下関市都市開発部	公園緑地課長	平成2~4年度
	繩田 健一郎	同 上	同上	平成5~6年度
	田中 博	下関市土木建築部	道路課長	平成4~6年度
	三崎 成	下関市教育委員会	教育次長	平成2年度
	橋本 隆司	同 上	同上	平成3~4年度
	島中 義治	同 上	同上	平成5~6年度

3 下関市立考古博物館の設置等に関する条例

(平成6年12月21日)
条例 第39号

(設置)

第1条 市民の教育,学術及び文化の向上に資するため,博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき,次のとおり考古博物館を設置する。

名 称	位 置
下関市立考古博物館	下関市大字綾羅木字岡454番地

(観覧料)

第2条 下関市立考古博物館(以下「考古博物館」という。)が展示する資料を観覧しようとする者は,別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第3条 考古博物館が展示し,又は保管している資料(以下「考古資料」という。)について,学術研究等のため熟観,模写,模造又は撮影等をしようとする者は,下関市教育委員会(以下「委員会」という。)の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は,別表第2に定める特別観覧料を納付しなければならない。

(施設の使用)

第4条 委員会は,考古博物館の設置目的を達成するために必要があると認めるときは,運営に支障のない範囲で,講堂又は学習室の使用を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は,委員会規則の定めるところにより,許可の申請をしなければならない。
3 委員会は,第1項の許可(以下「使用許可」という。)に条件を付することができる。

(観覧料等の減免)

第5条 市長は,特別な理由があると認められるときは,第2条の観覧料及び第3条第2項の特別観覧料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第6条 既納の観覧料及び特別観覧料は,還付しない。ただし,市長が特別な理由があると認めたときは,この限りでない。

(入館料及び使用許可の制限等)

第7条 委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、考古博物館への入館を拒み、又は考古博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又はそのおそれのある者
- (2) 考古資料、考古博物館の施設等をき損し、又はき損するおそれのある者
- (3) この条例又はこの条例に基づく規則に違反し、又はそのおそれのある者
- (4) 考古博物館の管理上支障があると認められる者

2 委員会は、使用許可を受けようとする者又は使用許可を受けた者が、次の各号の一に該当するときは、使用許可をせず、又は使用許可を取り消すことができる。

- (1) 前号各号の一に該当するとき。
- (2) 営利を目的とすると認められるとき。

(損害補償)

第8条 入館者は、その責めに帰すべき理由により、考古資料、考古博物館の施設等をき損し、滅失し、又は汚損した場合は、市長の定める損害の額を賠償しなければならない。

(考古博物館協議会)

第9条 法第20条の規定により、考古博物館に考古博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、委員10人以内をもって組織する。
- 3 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、委員会が定める。

(その他)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この条例は、市長の定める日から施行する。

（平成7年規則第27号で平成7年5月13日から施行）

附 則 （平成9年3月31日条例第48号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則 （平成10年3月31日条例第24号）

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

別表第1

観 覧 料

区分		一般	1人1回につき	
常設展示 観覧料	個人 団体(30名)	200円 160円	高校生・大学生 80円	小学生・中学生 50円 40円
企画展示観覧料		2,000円以内で市長が定める額		

備考 1 常設展示観覧料とは、考古博物館が常時展示している考古資料の観覧料をいう。

2 企画展示観覧料とは、考古博物館が特別に企画し、展示する考古資料の観覧料をいう。

別表第2

特 别 観 覧 料

区分		考古資料1点につき	
熟観		1日	200円
模写、模造等		1日	1,010円
撮影	モノクローム	学術研究を目的とする場合	1回 150円
		出版等収益を伴う場合	1回 1,510円
カラーライ		学術研究を目的とする場合	1回 300円
		出版等収益を伴う場合	1回 3,040円

備考 特別の事情によりこの表によりがたい場合は、市長が別に定める。

4 下関市立考古博物館の観覧料等に関する規則

(平成7年4月25日)
規則 第28号

(目的)

第1条 この規則は、下関市立考古博物館の設置等に関する条例(平成6年条例第39号。以下「条例」という。)

第2条、第3条第2項、第5条及び第6条の規定による観覧料等の徴収、減免及び還付に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(観覧料等の徴収)

第2条 条例第2条の観覧料(以下「観覧料」という。)は、別に定める観覧券と引き換えに徴収する。

2 条例第3条の特別観覧料(以下「特別観覧料」という。)は、下関市教育委員会が交付する下関市立考古博物館特別観覧許可書と引き換えに徴収する。

(観覧料等の減免)

第3条 条例第5条の規定により観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料等」という。)を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 老人保健法(昭和57年法律第80号)に基づく医療受給者証の交付を受けている者、療育手帳制度について(昭和48年9月27日付け厚生省発児第156号厚生事務次官通知)に基づく療育手帳の交付を受けている者(付添人1人を含む。)、身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に基づく身体障害者手帳の交付を受けている者(障害の程度が1級から4級までの者については、付添人1人を含む。)、精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)に基づく精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者(付添人1人を含む。)又は戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)に基づく戦傷病者手帳の交付を受けている者のうち、当該手帳に記入されている障害の程度が項症であるもの(障害の程度が特別項症から第4項症までの者については、付添人1人を含む。)が観覧するとき。全額
- (2) その他市長が特に必要と認めたとき。そのつど市長が定める額
- 2 前項の観覧料等の減免を受けようとする者は、市長に下関市立考古博物館観覧料減免申請書(第1号様式)又は下関市立考古博物館特別観覧料減免申請書(第2号様式)を提出しなければならない。ただし、前項第1号に該当する者は、医療受給者証又は当該手帳を提出することによって観覧することができる。

(観覧料等の還付)

第4条 条例第6条ただし書の規定により観覧料等を還付することが出来る場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 天災その他不可抗力により、観覧又は特別観覧(条例第3条第1項の熟覧、模写、模造又は撮影等をいう。以下同じ。)ができなくなったとき。全額
- (2) 考古博物館の修理、改築その他の管理上の理由により観覧又は特別観覧ができなくなったとき。全額
- 2 観覧料等の還付を受けようとする者は、下関市立考古博物館観覧料等還付申請書(第3号様式)により申請しなければならない。

(その他)

第5条 この規則に定めるもののほか、観覧料等に関して必要な事項は、市長が定める。

附 則

この規則は、平成7年5月13日から施行する。

附 則(平成11年3月26日規則第16号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

5 博物館建設事業費

敷地面積 13,008.39m² H3.3.27取得

延床面積 2,565.79m²

期間 H4~6年 3ヶ年継続事業

館 建 設	1,333,860千円
環 境 整 備	228,412千円
用 地 取 得	495,775千円 □
用 地 造 成	58,961千円 □ 554,736千円
実 施 設 計	41,530千円 □
└ 博 物 館	32,136千円 □
└ 展示施設	9,394千円 □
基 本 設 計	13,616千円 □ 55,146千円
休 憇 所	86,963千円
博 物 館 備 品	60,000千円
取 付 道 路	118,965千円
建設推進委員会 事 務 費	2,382千円 □ 6,051千円 □ 8,433千円
合 計	2,446,515千円

6 基本構想

1. 下関市立考古博物館の必要性

近代から現代に至るまでわが国の社会は、過去の歴史に例をみないほど激しく変化を遂げています。下関市においても著しい都市化の中にあって、多くの文化遺産が急速に失われつつあります。本市に残されている文化遺産の中には、私たちが日本の歴史を考えるうえで重要な価値をもつものが多くあります。本市の代表的な文化遺産のひとつである国指定の遺跡は、弥生時代2カ所、古墳時代1カ所、古代1カ所、近代2カ所の6カ所を数えます。これらの遺跡は本市の人口や面積を占める割合から、近隣の市町村より高く、本市のもつ歴史的特徴を物語っています。

なかでも、稲作を中心とする農耕文化を育んだ弥生時代は、伝統的な日本社会の基盤となり、現代に至りました。下関市においては山陰沿岸にほど近い綾羅木から安岡の低地や丘陵一帯に、弥生時代の集落跡が稠密に分布し、この中に史跡綾羅木郷遺跡、史跡梶栗浜遺跡、稗田地藏堂遺跡など著名な遺跡が点在しています。さらに吉母浜遺跡、山口県指定史跡の中ノ浜遺跡、史跡土井ヶ浜遺跡などが北浦沿岸に連なっています。

やがていくつかの村を纏めた有力者が出現した古墳時代には、有力者を葬った前方後円墳、円形墳、方形墳とよばれるお墓が造られるようになりました。本市及び周辺地域において代表的な墳墓として知られる6基の前方後円墳は山陰沿岸に集中し、そのうち4基が安岡から綾羅木にかけて、他の2基は市内の生野町と北に隣接する豊浦町にあります。

特に、史跡綾羅木郷遺跡の立地する丘陵には若宮1号墳、上の山古墳、史跡仁馬山古墳が連なり、仁馬山古墳に隣接して植松古墳、上ヶ原古墳などの方形墳が造されました。

史跡綾羅木郷遺跡の南側を流れる綾羅木川流域の水田は、稲作農耕が本格的に開始される直前の縄文時代終末頃から小規模な水田が作られ、弥生時代から古墳時代にかけて耕作地は拡大し、古代に至り長府町に長門国府が置かれた頃、綾羅木の水田では条里制度が確立し、現代に踏襲されています。綾羅木の条里制が施工された頃、伊倉遺跡や秋根遺跡などこの地方を治めた役所が作られ大きな町として栄えました。

史跡綾羅木郷遺跡は、昭和40年(1965)秋から開始された硅砂の採掘工事で文化財の保護と産業開発のはざまの中で、市民、研究者、本市教育委員会が一体となって発掘調査を進め、同時に遺跡の保存を訴え続けました。このころ全国でも盛んに進められていた産業開発と文化財保護の問題が世論を沸かす中で、昭和44年3月11日にわが国では前例のない緊急の史跡指定が行われ、文化財保護法改正のきっかけともなり、全国の文化財保護行政の確立を促した遺跡であります。

2) 展示計画についての基本的な留意点について

- ・現代日本の起点となった弥生時代から古墳時代を中心に、下関市がはたした役割を分かりやすく展示する。
- ・弥生時代、古墳時代の理解をたすけるために、現代からタイムトンネルを通って過去に遡る展示を行う。
- ・展示の目的を達成するために、下関市内にとどまらず関連する資料を収集し、研究・展示を行う。
- ・21世紀に向けた考古博物館としてオーディオ、ビジュアル等の技術を導入し施設の充実を図る。
- ・展示の方法、設備について十分な配慮を行い、情報の収集・整備を行い市民への情報提供のために、ロビー、講堂、郷土学習室において利用を図る。
- ・展示は九州、瀬戸内、環日本海、朝鮮半島、中国など他地域との関わりを取り入れる。

◎常設展示

- ・将来の展示替えを考えて、さまざまな展示に対応できるよう部屋の設計を行う。
- ・展示替えが容易にできるように、できるだけ固定ケースや固定パネルは置かず、可能な限り室内に柱は設けない。

◎特別・企画展示

- ・特別展示、企画展示を開催しないときも、季節展示、体験展示等の場として使用できるような設計をする。

◎学習

- ・博物館見学に先だって、講堂において映像による導入を行う。また成人向けの講座、研究会を開催する。郷土学習室において体験学習や小規模な研究講座を開催する。さらに展示室においても、ワークシートやQ&Aの活用や体験的要素を取り入れた演出を行う。

◎屋外展示

- ・見学者の各時代の理解を容易にするため、多目的広場を中心とし、古墳時代、弥生時代のゾーンを明確にする。
- ・展示は整備の終了した史跡のうちから古墳の森の見学・学習、弥生の里(仮称)の遺跡確認調査及び見学のための動線を考慮し、学習する博物館(ワーキングミュージアム)の環境をつくる。

◎休憩施設

- ・史跡指定地の古墳の森には、屋外での見学と憩いの場所として利用するほか、駐車場に隣接して休憩施設ならびに洗面所を設置する。

3) 学習・研修施設センターとしての機能の充実

市民の学習・研究センターとしての機能を維持し、質の高い展示を発展させ、市民に充分な知的サービスを提供するために管理部門、学芸部門、調査部門の3部門を構成し、本館における研究を継続的に行う。

2. 目的

今や、経済大国に成長した我国は、人々の心にゆとりと潤いが求められています。そのためにも伝統的な我国の文化や文化遺産を正しく伝え、心ゆたかな市民生活を送るための環境の育成が急務であります。国を挙げて保存に取り組み、4半世紀を経た史跡綾羅木郷遺跡のもつ精神を子孫に伝え残すために、史跡に隣接して下関市立考古博物館を建設し、第2次世界大戦後に本格的に開始された埋蔵文化財の調査・研究の成果を下関市民のみならず全国の人々に公開、活用し、さらに本市の友好都市を含めた近隣諸国とも国際的な学術交流を図り、友好の輪を促進する必要があります。

そのためには、まず市民が参加する博物館として史跡指定地の古墳の森の見学、弥生の里（仮称）の遺構確認調査への参加、史跡の道の見学と関連づけ、博物館の屋外には体験学習のできる竪穴住居、古墳を復元するなど諸施設を設置し、来館した人達が積極的に参加し、楽しみながら学習する博物館（ワーキングミュージアム）を目指します。

ついで本市で行っている埋蔵文化財の発掘調査の推進にあわせて、本市との関わりのある地域の考古資料の収集・研究を行い、その成果を市民へ公開し、文化財に対する理解と啓蒙を深めていきたいと思います。

さらに史跡や博物館を一般市民の学習の場として提供するとともに、憩いとやすらぎの場として心ゆたかな潤いのある生活の場を提供し、また国内のみならず諸外国の弥生文化、古墳文化の研究をする人達へも研究の場を提供し、学術交流を深めていきたいと考えます。

3. 特色

下関市立考古博物館では、体験学習する博物館（ワーキングミュージアム）活動を通して、文化財への理解と啓蒙を図るために、次のような特色をそなえる。

1) 建築についての留意点

- ・資料が良好な状態で保存できるようにする。
- ・来館者が気軽に入館できるようにする。
- ・来館者が見学しやすい構造、見学が終わった後に印象に残るような構造にする。
- ・展示は室内と屋外、史跡を一体とした構成にする。
- ・職員が使いやすい機能的な構造にする。
- ・資料の保存に影響のない空間では、外光（間接光）を十分取り入れ、明るい雰囲気をつくる。
- ・市民に開放され、情報を提供できるサービス機関として活用する。
- ・市民の学習の場として、施設、設備の整備、充実を行う。
- ・考古博物館の目的にかかるイベントを開催する。

7 常設展示

エントランス

正面玄関を入るとエントランスになっており、原寸大の貯蔵用竪穴がジオラマによって再現されています。エントランスの左側では秋を迎えた弥生人の家族が、収穫した食べ物を貯蔵用竪穴に蓄えるために働いています。右側では現在（1965年頃）の考古学の研究者が弥生人の残した貯蔵用竪穴の発掘調査をしています。屋外には復元された竪穴住居があり、その後ろには弥生の里が広がり、はるか彼方には龍王山がそびえています。



監修 人物 九州大学 名誉教授 永井 昌文
衣装 大阪外国語大学 助教授 武田佐知子
犬 奈良国立文化財研究所 松井 章

タイムトンネル

下関市は中国山地の端にあたり、日本海、瀬戸内海に囲まれ、南は関門海峡を隔てて北九州と接し、海との関わりの中で、大きく移り変わっています。

タイムトンネルでは、平成・昭和、大正・明治、江戸、室町・鎌倉、平安・奈良の各時代を遡りながら下関の歴史の移り変わりを通過したのち、古墳時代、弥生時代の世界を見学していただきます。



タイムトンネル



土笛を吹く少年と少女

常設展示室

常設展示室では、弥生・古墳時代の下関市域および近接地域の歴史だけでなく、大陸との交流史をも考古資料を通して理解していただけるように、テーマ展示方式を採用しています。また、弥生・古墳時代の文化がゲーム感覚で学習できるように3D映像装置などの視聴覚機器やパソコンを設置しています。

①古墳時代の下関と古墳の副葬品

市内の古墳や古墳時代の遺跡から出土した大刀や馬具、装身具、土器、青銅器などの副葬品や生活用具を交えて展示しています。

②弥生時代のくらしと弥生土器

考古博物館に隣接する国指定史跡「綾羅木郷遺跡」の出土品を中心に、土器や石器、鉄器などの日常生活用具、勾玉などの装身具を展示。あわせて弥生時代の四季の生活パネルによって説明しています。

③海からの文化

中国や朝鮮半島との交流を示す、市内出土の土笛(陶埙)や蓋弓帽、細形銅劍、多鈕細文鏡などの実物および複製品を展示しています。また、縄文～古墳時代にかけての日本・中国・朝鮮半島間の文物交流史を年表形式で示しています。



常設展示室

④その他

・弥生土器検索

綾羅木郷遺跡から出土した弥生土器の種類・文様などをデータベース化し、索引によって検索できるようにしています。

・古墳の模型

若宮1号墳(前方後円墳)・岩谷古墳(円墳)を、内部の様子がわかるよう20分の1の大きさの模型で示しています。

・道具のゆくえ

石器や青銅器などの遺物の用途を、早押しクイズ方式により学習できるようにしています。

・弥生時代・古墳時代アラカルト[Q&A]

弥生時代および古墳時代の文化や社会を、パソコン4台を使い、楽しみながら学習できるようにしています。

・土器ジグソーパズル

甕・壺の破片(セラミック製)を接合し、弥生土器の復元作業が体験できるようにしています。

・映像装置(模型を併用)

a, 弥生のムラ(四季の暮らし)[3D映像] d, 海岸での漁労風景

b, 綾羅木の稻作風景

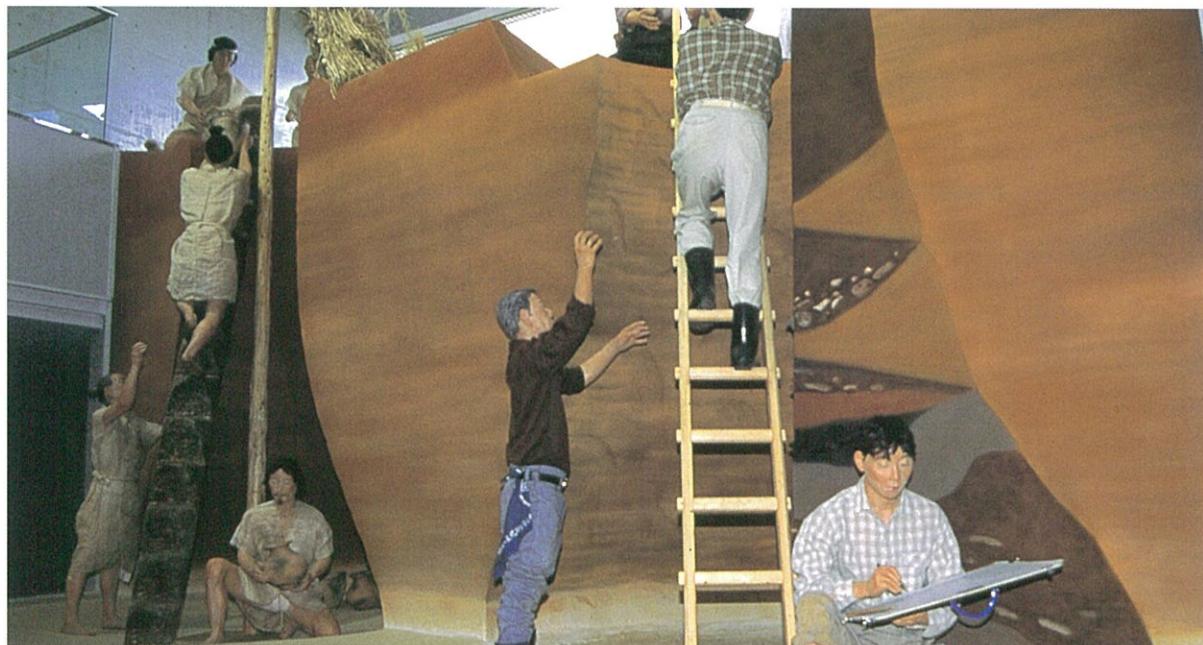
e, 梶栗浜での埋葬風景[3D映像]

c, 貯蔵用竪穴

f, 弥生土器作りの体験

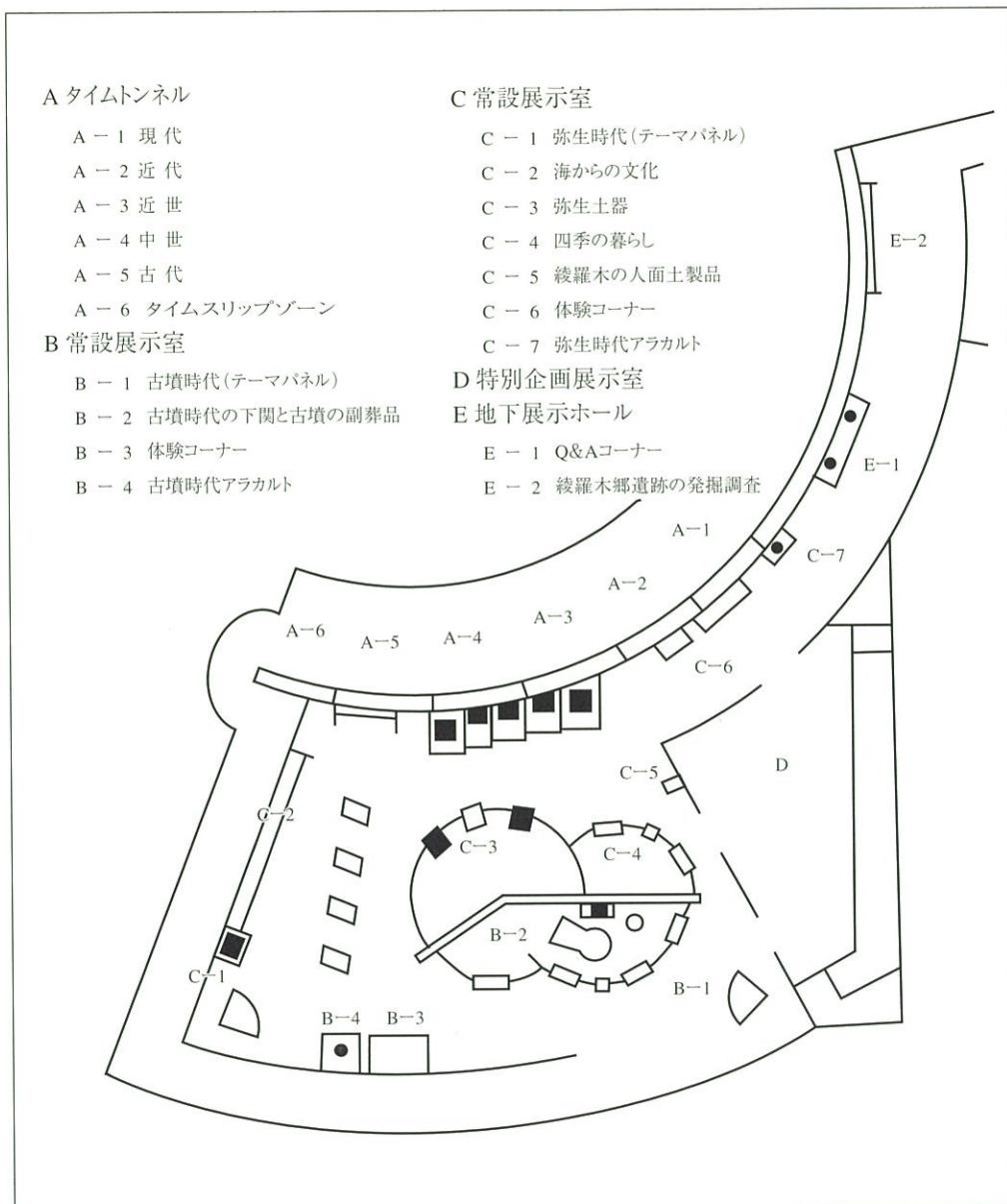
・綾羅木郷遺跡の発掘調査

昭和44(1969)年に、珪砂の採掘を目的に、綾羅木郷遺跡を破壊した業者のブルドーザーの前に、身を挺して立ちはだかったボランティアの人々の様子をグループSYSの撮影した写真パネルで紹介しています。



地下展示ホール

展示場案内



空から見た考古博物館

8 屋外展示

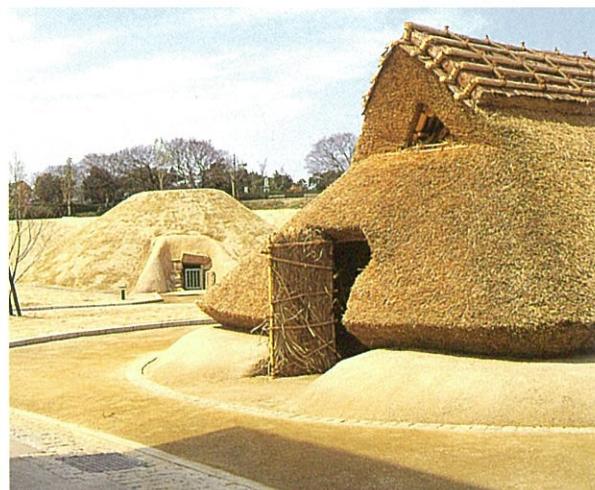
屋外には、移築した岩谷古墳や、弥生・古墳時代の竪穴住居が復元され、中に自由に入れるようになっています。また、古墳の森ゾーンとして若宮古墳群が史跡整備されています。



岩谷古墳



竪穴住居（弥生時代）



竪穴住居（古墳時代）

9 館内の施設

講堂

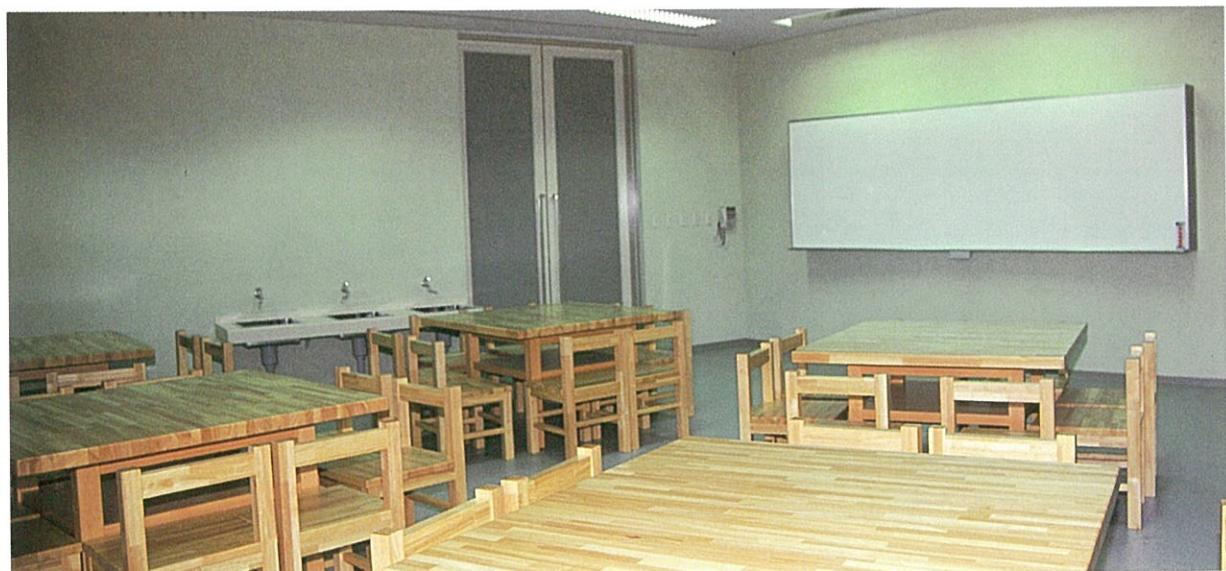
80名が収容できる講堂です。開館中は三面マルチビジョンを使って1時間おきに映像を放映します。また、市民を対象にした研究会や講演会、シンポジウムなどを行います。



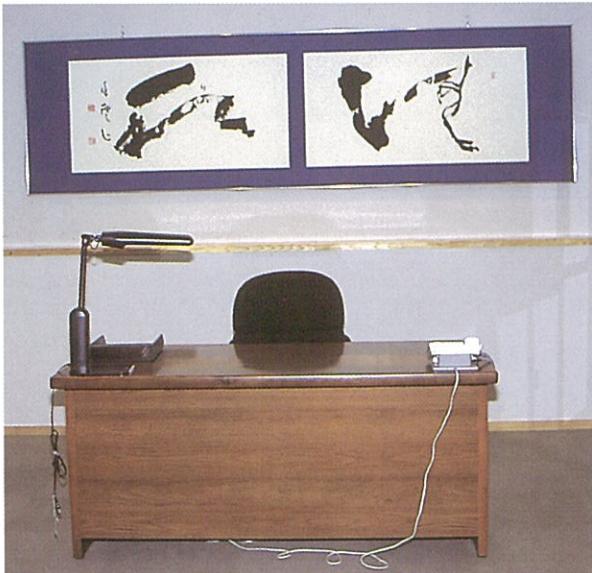
講堂

郷土学習室

史跡 綾羅木郷遺跡の古墳の見学・学習、そのほか四季折々を通じて体験学習を行うとともに、下関市内の遺跡や考古学に関わる学習のために、小中学生・成人を対象にした講座を開催します。また学習室の中には、郷土の遺跡を研究する資料や書籍を置き、だれでも利用できます。



郷土学習室



館長室



図書室



収蔵庫(上)



トラックヤード



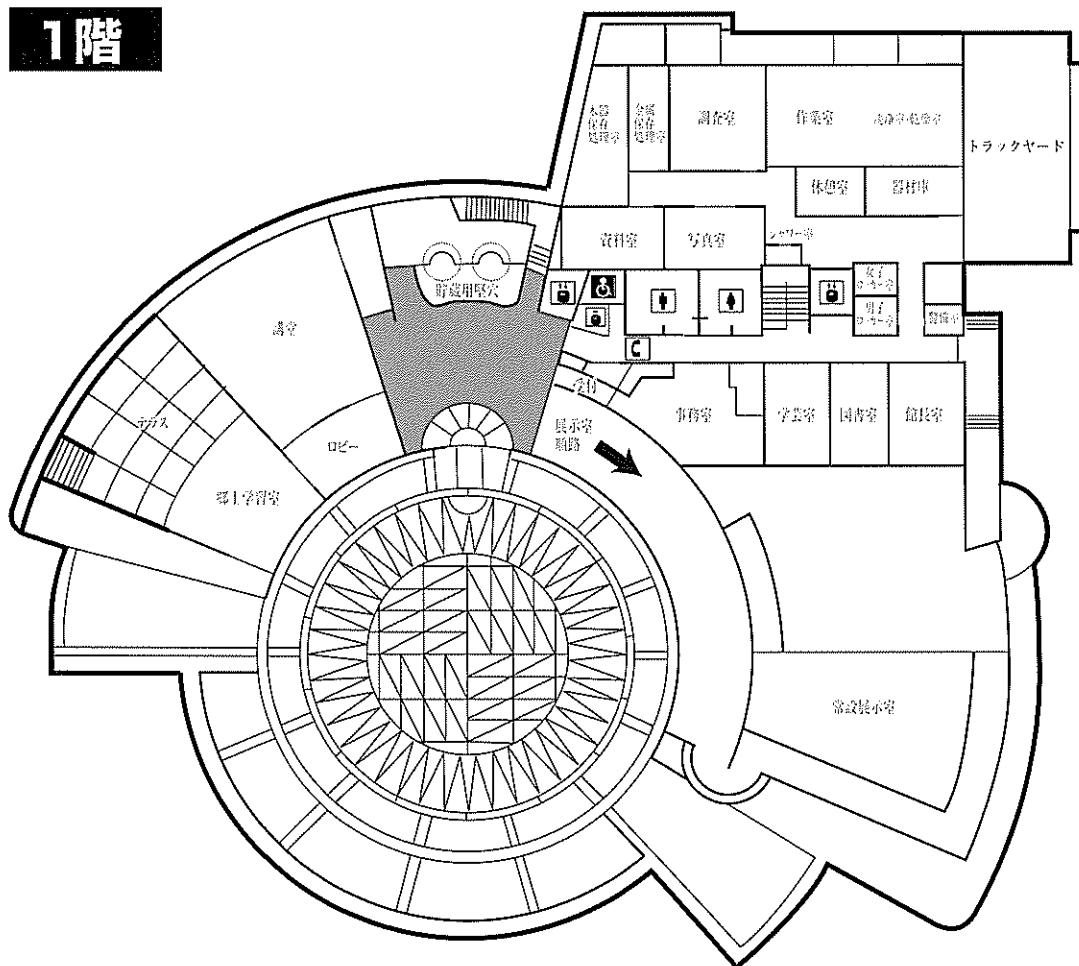
収蔵庫(下)



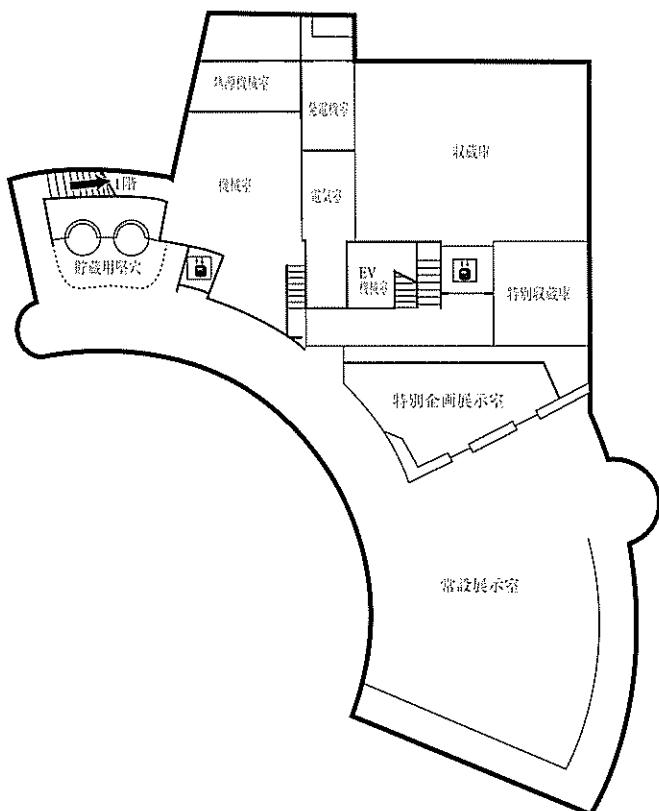
特別収蔵庫(内部)

平面図

1階



地階



各室面積

(単位:m²)

	面積		面積
A . 展示部門		D. 教育普及部門	
常設展示室	403.77	講堂	170.02
企画展示室	102.27	郷土学習室	67.03
タイムトンネル	116.09	小計	237.05
展示ロビー	74.64	E . 管理部門	
地下ホール	97.62	受付	8.68
小計	794.39	館長室	34.80
B . 収蔵部門		事務室	56.05
収蔵庫	208.50	湯沸室	7.08
特別収蔵庫	45.77	休憩室	6.91
荷捌場	38.19	更衣室	10.45
トラックヤード	97.86	シャワー室	5.29
小計	390.32	警備員室	5.46
C. 調査研究部門		小計	134.72
洗浄・作業室	89.47	F . 機械部門	
金属保存処理室	20.01	機械室	148.13
木器保存処理室	47.57	熱源機械室	32.65
資料室	31.53	発電機室	26.71
器材庫	14.48	電気室	38.94
調査員室	17.80	E V 機械室	21.38
休憩室	14.33	C O ₂ 倉庫	19.98
写真室	29.47	機械(1F)	16.06
暗室	4.02	小計	303.80
学芸員室	32.05	G . 共用部門	443.60
図書室	29.04	合計	2,663.65
小計	359.77		

敷地面積 13,008.39m²

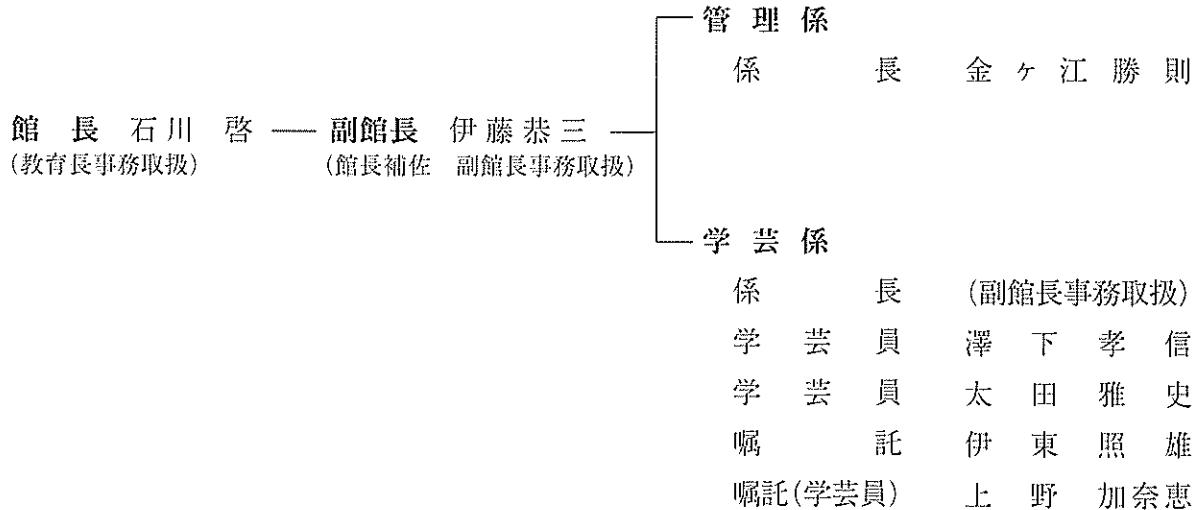
構造 鉄筋コンクリート造2階(地上1階・地下1階)

建築面積 1,875.35m²

建築延面積 2,663.65m²(1F 1,477.24m² · B1 1,186.41m²)

10 管理運営

(1) 組織・職員 (平成12年3月31日現在)



※ 人事異動

職 名	氏 名	異 動 内 訳	異 動 日
館 長	石川 啓	下関市教育委員会教育長事務取扱	平成11年4月1日付事務取扱
学 芸 員	東 哲 志	下関市教育委員会文化課へ転出	平成11年6月1日付異動
学 芸 員	太 田 雅 史	下関市教育委員会文化課より転入	平成11年6月1日付異動

(2) 予算

(単位:千円)

事 業 名	平成11年度
管 理 運 営 業 務	67,779
調 査 研 究 業 務	10,709
展 示 業 務	5,627
教 育 普 及 業 務	2,639
計	86,754

(3) 博物館協議会委員

下関市立考古博物館協議会は博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関で博物館法および下関市立考古博物館の設置等に関する条例に基づき設置されている。

博物館協議会開催

日 時 平成11年6月28日(月)
 会 場 下関市立考古博物館 講堂
 出 席 者 金関 惣、近藤喬一、
 平野博之、渡辺一雄、
 清永只夫、河波茅子、
 杉山元紘、山永秀治、
 石川 啓、伊藤恭三、
 金ヶ江勝則、澤下孝信、
 太田雅史、伊東照雄、
 上野加奈恵

委員会名簿 (平成12年3月31日現在)

区分	氏 名	役 職 名
学識経験者	金関 惣	大阪府立弥生博物館 館長
	近藤喬一	山口大学 教授
	藤丸詔八郎	北九州市考古博物館 館長
	渡辺一雄	梅光女学院大学 助教授
社関会係教教育	清永只夫	下関市立文化財保護審議会 郷土の文化財を守る会 会長
	河波茅子	絹の道の会 会長
学関校係教教育	杉山元紘	下関市立安岡小学校 校長 小学校社会科部会 部長
	山永秀治	下関市立文洋中学校 教頭 中学校社会科部会 部長

※平成11年7月退任
 学識経験者 下関市立大学名誉教授 平野 博之

11 調査研究

(1) 先進地視察・資料調査・研修

<派遣先>	<派遣職員>	<派遣日時>
①日本考古学協会第65回総会(前橋市)、 広島・大阪・三重・奈良・京都方面資料調査	澤下孝信	平成11年5月21日～平成11年5月26日
②平成11年度山口県博物館協会総会(山口市)	伊藤恭三	平成11年5月20日
③日本博物館協会中国支部総会(倉吉市)	金ヶ江勝則	平成11年6月 2日～平成11年6月 4日
④滋賀・大阪・兵庫方面先進地視察	太田雅史	平成12年1月30日～平成12年2月 2日
⑤平成11年度博物館指導者研究協議会(宮崎市)	金ヶ江勝則	平成12年2月 2日～平成12年2月 4日
⑥保存科学研究集会2000(奈良市)	澤下孝信	平成12年2月 7日～平成12年2月 8日
⑦島根・鳥取方面先進地視察	伊東照雄	平成12年2月16日～平成12年2月18日

(2) 研究紀要の発行

平成12年3月31日『研究紀要』第4号(A4版50頁)発刊

<執筆者>	<題名>
田村 洋(山口県立大学教授)	「古代からの贈り物—弥生土笛考—」【講演録】
伊東照雄	「綾羅木郷台地の足跡」【講演録】
澤下孝信	「下関市域出土資料の研究1」
伊東照雄	「第50次 綾羅木郷遺跡発掘調査報告」

12 展示

(1)企画展

「弥生の装い—アクセサリーとその呪術性—」

会期 平成11年10月2日(土)～平成11年11月28日(日)

入館者 9,173名(開会日52日・1日平均176名)

内容 現代は男女を問わずアクセサリーを身につける。このことから、美へのあこがれとともに、価値観の多様化した社会における個々人の自己主張を読みとることも可能である。我が国では約17,000年前の後期旧石器時代に装身具が出現して以来、現在に至っているが、本企画展ではおもに西日本における弥生時代の装身具を取り上げ、その多様性とそこに込められた意味合いを探る目的で開催した。

展示解説会

10月17日(日) 参加者15名

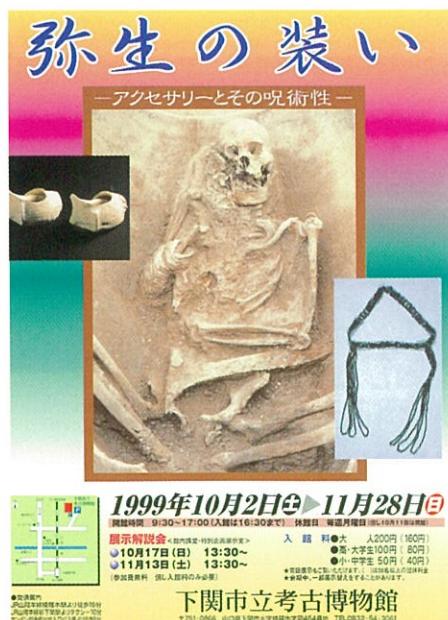
11月13日(土) 参加者24名

刊行物

ポスター B2版カラー 1,800部

チラシ A4版カラー 10,000部

解説冊子 A4版一部カラー24頁 1,800部



▲企画展ポスター



▲展示風景



▲展示解説会

(2) 小企画展

「よみがえる下関の歴史Ⅱ～秋根遺跡～」

会期 平成11年6月8日(火)～平成11年9月19日(日)

入館者 5,751人(開会日90日・1日平均64人)

内容 下関市の各遺跡からの出土品をテーマとした“よみがえる下関の歴史シリーズ”の第2段として開催した。今回は秋根地区の弥生時代から古墳時代にかけての竪穴住居跡や、平安時代から鎌倉時代の古代の役所跡などからの出土品を中心に、当時の人々の暮らしの一端に触れ、市内の文化財により一層の造詣を深めていただくことを目的とした。

展示解説会

7月11日(日) 参加者28名

8月15日(日) 参加者30名

9月 5日(日) 参加者8名

刊行物

ポスター B2版カラー 2,000部

チラシ A4版カラー 10,000部



▲小企画展ポスター



▲展示風景



▲展示解説会

(3) 綾羅木郷遺跡発見100周年記念

「やよい絵画・写真」展

会期 投票展示期間 平成11年12月7日(火)～平成12年2月20日(日)

優秀作品発表期間 平成12年3月11日(土)～平成12年5月28日(日)

入館者 投票展示期間 3,732人(開会日61日・1日平均61人)

優秀作品発表期間 951人(開会日19日・1日平均50人)

内容 下関市立考古博物館に隣接する「綾羅木郷遺跡」が明治32年～33年に発見されて今回100周年を迎えた。そこで100周年を記念し、市民の遺跡や文化財に親しんでもらおうと「やよい絵画・写真」展を開催した。この企画展では小・中学生から考古博物館の周辺風景や、展示を見ての感想画・古代に関する想像画などを募集、16歳以上の一般を対象に考古博物館周辺や建物等の風景写真を募集した。集まった作品は全部展示し、来館者による投票方式で優秀作品を決めた。

応募者 ●絵画部門 80人

●写真部門 5人

投票数 688票(内無効票 17票)

受賞者 ●絵画部門 14人

安岡小学校	1年	引地 祐大	川中小学校	6年	石井 義三
川中小学校	1年	木下 たかひろ	勝山小学校	6年	未成 友美
堀田小学校	1年	松谷 一輝	堀田小学校	6年	山本 康博
豊浦小学校	3年	井上 裕陽	文洋中学校	2年	宮川 思量
安岡小学校	3年	幡手 晶子	文洋中学校	2年	福田 恵丈
安岡小学校	4年	吉田 真衣子	安岡中学校	3年	浜脇 一真
川中西小学校	5年	江村 淳	吉見中学校	3年	谷口 奈津子

●写真部門 1人

豊浦町 永富 照明

表彰式 平成12年3月11日(土)

参加者 42名(うち受賞者の出席11名)

会場 下関市立考古博物館講堂



▲展示風景



▲表彰式

13 教育普及

(1) 講師派遣

<派遣先>	<派遣職員>	<派遣日時>
① 勝山三山を守る会	伊東 照雄	平成11年5月23日
② (財)松山市生涯学習振興財団	伊東 照雄	平成11年6月14日～平成11年6月15日
③ 広報広聴課	伊東 照雄	平成11年8月6日
④ 長府東公民館	伊東 照雄	平成11年10月5日
⑤ (財)松山市生涯学習振興財団	伊東 照雄	平成11年11月7日
⑥ 日置町教育委員会	伊東 照雄	平成11年12月7日

(2) 一般教養講座

平成11年度 年間テーマ 「三角縁神獣鏡の謎に迫る」

①	日 時	平成11年5月16日(日)
	会 場	下関市立考古博物館 講堂
	講 師	大阪大学助教授 福永 伸哉氏
	演 題	「倭製三角縁神獣鏡はなぜつくられたか」
	聽 講 者	121名
②	日 時	平成11年7月24日(土)
	会 場	下関市立考古博物館 講堂
	講 師	元京都大学人文科学研究所長 福永 光司氏
	演 題	「古代日本と中国文化」
	聽 講 者	91名
③	日 時	平成11年9月11日(土)
	会 場	下関市立考古博物館 講堂
	講 師	京都大学助教授 岡村 秀典氏
	演 題	「神獣鏡の図像学」
	聽 講 者	60名
④	日 時	平成11年11月20日(日)
	会 場	下関市立考古博物館 講堂
	講 師	滋賀県立大学教授 菅谷 文則氏
	演 題	「古墳時代はいつからはじまったか —卑弥呼と鏡—」
	聽 講 者	83名



(3) 体験学習

① 小学生土笛作り教室

会 場 製 作 下関市立考古博物館 郷土学習室

野 焼 下関市立考古博物館 体験広場

・第一回 日 時 平成11年8月 7日(土) [製作]

8月 22日(日) [野焼]

参加者 39名

・第二回 日 時 平成11年8月 8日(日) [製作]

8月 22日(日) [野焼]

参加者 35名



▲土笛作り教室

② 史跡の道クイズウォーク(中止)

日 時 平成12年3月11日(土)

場 所 史跡の道

(秋根記念公園～梶栗浜遺跡～考古博物館)

(※当日、雨天のため中止。)

なお、当日来られた希望者数名とコースをまわる。)



▲土笛作り 野焼き

(4) 博物館実習生の受け入れ

平成11年 8月16日～8月21日までの5日間、大阪芸術大学の学生1名、梅光女学院大学の学生1名、の計2名を受け入れ、講義及び実務等の指導を行った。

	8/16日(月)	8/17日(火)	8/18日(水)	8/19日(木)	8/20日(金)	8/21日(土)
A M	館内説明 発掘調査参加	展示案作成	長府博物館見学	発掘調査参加	展示案作成	文化財教室参加
P M	展示案作成	展示案作成	美術館見学	展示案作成	展示案作成	レポート作成

実習生

大阪芸術大学 4年 川崎奈緒

梅光女学院大学 3年 膳夫なつみ

(5)刊行物

①平成11年度企画展示 展示図録

発刊日 平成11年10月2日
体裁 A4版 24頁
発行部数 1,800部

⑤研究紀要 第4号

発刊日 平成11年3月31日
体裁 A4版 50頁
発行部数 1,500部

②下関市立考古博物館パンフレット(英語版)

発刊日 平成11年8月1日
体裁 B4版 三つ折り
発行部数 3,000部

⑥博物館だより あやらぎNo4

発刊日 平成12年3月31日
体裁 A4版 4頁
発行部数 20,000部

③下関市立考古博物館 年報5

発刊日 平成12年3月31日
体裁 A4版 48頁
発行部数 1,300部

⑦下関市立考古博物館展示ガイド

発刊日 平成12年3月31日
体裁 A4版 8頁
発行部数 10,000部

④下関市立考古博物館 要覧

発刊日 平成12年3月31日
体裁 A4版 48頁
発行部数 200部

(6)広報活動

平成11年度は博物館だより「あやらぎ」4号を発行。下関市内の小学校5.6年生、中学校1年生の全児童・生徒、山口・広島・島根県内・北九州市内の小中学校、旅行業者、関係機関等に配布、また地元綾羅木地域の方に当館をより知っていただくため自治会の協力を得て各家庭への配布も行った。

企画展「弥生の装い—アクセサリーとその呪術性—」ではポスター、チラシ、展示図録を発行し、全国の教育委員会、博物館等の研究機関、下関市内の自治会長、公共機関、市内JR各駅へ配布し、ご協力頂いた。

展示をはじめとする各事業の広報についても市報、新聞、テレビ、FMラジオ、広報紙、タウン誌、考古学関係雑誌での取材を通じPR活動を行った。

● 団体観覧

学校や、一般の団体入館者には、時間や希望に応じて学芸員による博物館の説明を行った。



▲学芸員による団体入館者への説明

14 資料の貸し出し

展示品の貸し出し

- ①大阪府立弥生文化博物館(平成11年4月10日～平成11年7月9日)
 - ・梶栗浜遺跡出土品—多鈕細文鏡(レ[°]リカ)、細形銅劍(レ[°]リカ)
 - ・綾羅木郷遺跡出土品—土笛、天河石製勾玉
- ②島根県立八雲立つ風土記の丘(平成11年7月5日～平成11年9月18日)
 - ・綾羅木郷遺跡出土品—土笛
- ③山口県教育委員会(平成11年11月1日～平成12年1月12日)
 - ・綾羅木郷遺跡出土品—ハンドアックス、弥生土器、土笛、天河石製勾玉
 - ・梶栗浜遺跡出土品—細形銅劍(レ[°]リカ)、多鈕細文鏡(レ[°]リカ)、
 - ・稗田地蔵堂遺跡出土品—蓋弓帽(レ[°]リカ)
- ④(財)松山市生涯学習振興財団(平成11年10月5日～平成11年11月30日)
 - ・綾羅木郷遺跡出土品—連鎖状突帶紋壺、壺(№968)、甕(№1008,№1057)

写真の貸し出し

- ①大阪府立弥生文化博物館(平成11年2月24日～平成11年4月30日)
 - ・綾羅木郷遺跡出土品—土笛、天河石製勾玉(集合写真)
- ②島根県立八雲立つ風土記の丘(平成11年6月3日～平成11年9月18日)
 - ・綾羅木郷遺跡出土品—土笛
 - ・秋根遺跡出土品—鼓形器台、注口土器
- ③島根県斐川町教育委員会(平成11年7月1日～平成11年9月30日)
 - ・綾羅木郷遺跡出土品—人面土製品
- ④(財)下関観光コンベンション協会(平成11年7月13日～平成11年8月12日)
 - ・考古博物館写真—エントランス、常設展示室(弥生時代)、考古博物館(空撮)、円形広場
- ⑤(株)小学館 実用図書編集部(平成11年7月15日～平成11年10月31日)
 - ・綾羅木郷遺跡出土品—弥生土器、土笛
 - ・遺跡写真—貯蔵穴遺物出土状況(木船地区)、若宮古墳(空撮)、若宮1号墳
- ⑥山口県教育委員会(平成11年8月1日～平成11年8月31日)
 - ・梶栗浜遺跡出土品—細形銅劍・多鈕細文鏡
- ⑦(財)松山市生涯学習振興財団(平成11年9月17日～平成11年11月12日)
 - ・綾羅木郷遺跡出土品—連鎖状突帶紋壺、壺(№968)、甕(№1008,№1057)
 - ・遺跡写真—貯蔵用堅穴断面、綾羅木郷遺跡の発掘調査
- ⑧クロス編集事務所(平成11年11月12日～平成12年1月13日)
 - ・考古博物館—博物館建物等4点

15 入館者状況

(1)月別入館者数

月	開館日数	個 人				団 体				小 計		1日平均 入館者数	合 計	
		一般	高大生	小中生	小計	一般	高大生	小中生	小計	有料	無料			
4	26	372	10	258	640	0	0	154	154	794	1,167	75	1,961	
5	30	718	47	412	1,177	163	0	3,074	3,237	4,414	1,892	210	6,306	
6	27	353	7	93	453	230	0	393	623	1,076	619	63	1,695	
7	27	507	21	168	696	230	0	3	233	929	758	62	1,687	
8	26	622	48	509	1,179	11	0	35	46	1,225	893	78	2,118	
9	26	249	16	101	366	94	0	186	280	646	433	42	1,079	
10	29	602	35	219	856	16	72	418	506	1,362	6,260	263	7,622	
11	25	369	52	109	530	93	0	7	100	630	942	63	1,572	
12	24	177	7	39	223	0	0	0	0	223	406	26	629	
1	24	280	11	77	368	0	0	0	0	368	266	26	634	
2	25	234	24	88	346	36	0	0	36	382	2,378	110	2,760	
3	28	355	36	118	509	64	30	1	95	604	600	43	1,204	
合計		317	4,838	314	2,191	7,343	937	102	4,271	5,310	12,653	16,614	92	29,267

平成7年度 合計	273	20,296	982	6,081	27,359	4,256	103	1,710	6,069	33,428	15,606	180	49,034
平成8年度 合計	302	9,333	498	3,740	13,571	2,359	109	2,054	4,522	18,093	11,431	98	29,524
平成9年度 合計	311	6,897	356	2,380	9,633	2,298	492	2,636	5,426	15,059	14,424	95	29,483
平成10年度 合計	308	5,219	367	1,876	7,462	1,394	72	3,043	4,509	11,971	15,590	89	27,561

小企画展「よみがえる下関の歴史Ⅱ～秋根遺跡～」展 開催期間中入館者数

6月8日～9月19日	90	1,617	85	837	2,539	565	0	149	714	3,253	2,498	64	5,751
------------	----	-------	----	-----	-------	-----	---	-----	-----	-------	-------	----	-------

企画展「弥生の装い—アクセサリーとその呪術性—」展 開催期間中入館者数

10月2日～11月28日	52	962	85	328	1,375	109	72	425	606	1,981	7,192	176	9,173
--------------	----	-----	----	-----	-------	-----	----	-----	-----	-------	-------	-----	-------

綾羅木郷遺跡発見100周年記念 「やよい絵画・写真」展 開催期間中入館者数

12月7日～2月20日	61	594	26	177	797	0	0	0	0	797	2,935	61	3,732
3月1日～3月31日	19	283	29	102	414	30	30	1	61	475	476	50	951

● 入館者

平成11年度の総入館者数は29,267名であった。市民団体の考古博物館活用として、平成11年10月3日に、「郷台地に賑わいを求める会」主催「チャリティフリーマーケット＆バザー」を博物館屋外にて催し、3,500名の参加者があり、その際多くの入館者があった。



▲フリーマーケット開催時の屋外風景

(2) 都道府県別入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北海道		3						2				1	6
青森					49								49
岩手													0
宮城													0
秋田													0
山形													0
福島					2								2
茨城												3	3
栃木					1		1						2
群馬			2							1		4	22
埼玉	3	1	2	12	1					1			16
千葉	1	6	2	5	1			1					16
東京	5	15	4	9	37	9	19	3		7		18	129
神奈川	2	4	2	1	12	1	1		4		2		29
新潟						10							10
富山			1										1
石川		2											2
福井						2							2
山梨													0
長野			1										0
岐阜													0
静岡	1	3	2		4	6							16
愛知	3		1		8	1	1	5					19
三重					9								0
滋賀													9
京都		4			12		2	1	2			1	22
大阪	4	7	2		25	3	45		4	1	5	3	99
兵庫	4	4		4	8		4	1		1		3	29
奈良		1				1		1	3	2		1	9
和歌山					2	4							6
鳥取		1	1		4	1			1			2	10
島根	59	119	133			71	105				2	30	519
岡山		4		3	4							7	26
広島	144	2,533	284	18	65	83	266	79	12	6	18	117	3,625
山口	1,694	3,333	1,015	1,302	1,760	731	6,933	1,358	500	550	2,679	877	22,732
(下関市内)	1,660	2,271	849	1,099	1,628	664	6,832	1,274	472	515	2,591	774	20,629
徳島		4											4
香川		1	5									13	19
愛媛		6			3		3				1		13
高知						2						4	6
福岡	38	213	232	322	76	161	209	74	34	35	37	83	1,514
佐賀	1			1			2	14					18
長崎		16	5	3			7			2			33
熊本		8						18		24	5	42	97
大分	3	1	2	7	9	2			2			5	31
宮崎	2						3						5
鹿児島		3	1	3	3		5			2			17
沖縄		5	1	2			6					2	16
外国		7	4	7	8	3	2	4	65				100
合計	1,961	6,306	1,695	1,687	2,118	1,079	7,622	1,572	629	634	2,760	1,204	29,267

(3)学校団体

・市内の学校

見学日	学校名	人数
4月17日(土)	勝山小学校(6年)	129名
4月17日(土)	堺田小学校(6年)	86名
4月27日(火)	神田小学校(6年)	61名
4月27日(火)	吉見小学校(6年)	73名
4月28日(水)	川中小学校(6年)	116名
4月30日(金)	向山小学校(5年)	93名
4月30日(金)	養治小学校(6年)	50名
5月 6日(木)	一の宮小学校(6年)	136名
5月 7日(金)	生野小学校(6年)	82名
5月10日(月)	角倉小学校(6年)	96名
5月11日(火)	安岡小学校(6年)	184名
5月22日(土)	吉田小学校+父母	48名
5月27日(木)	玉江小学校(3年)	30名
5月27日(木)	川中西小学校(6年)	87名
5月28日(金)	関西小学校(6年1組)	40名
5月28日(金)	長府小学校(6年)	138名
5月29日(土)	桜山小学校(6年1.2組+父母)	99名
6月 4日(金)	養治小学校(3年)	49名
6月17日(木)	川中小学校(考古学クラブ)	11名
6月18日(金)	山口県立盲学校	2名
6月20日(日)	本村小学校(5年1.2組)	49名
7月 3日(土)	文間小学校(6年3組)	36名
7月 6日(火)	梅光女学院大学	7名
8月 4日(水)	東光保育園	69名
9月17日(金)	下関養護学校	7名
10月 5日(火)	名池小学校(3年1組)	36名
10月19日(火)	梅光女学院中学級(1年)	79名
10月21日(木)	山の田小学校	123名
10月22日(金)	長府高等学校	251名
10月22日(金)	安岡幼稚園	60名
10月23日(土)	山口朝鮮高級学校	39名
10月29日(金)	勝山小学校	128名
10月29日(金)	いちょう幼稚園	127名
11月 5日(金)	山口朝鮮学校 中等部	22名
11月 6日(土)	川中学校(1年)	281名
11月 6日(土)	川中幼稚園	107名
11月10日(水)	山の田中学校	4名
3月 2日(木)	川中小学校(考古学クラブ)	11名

・市外の学校

見学日	都道府県	市町村	学校名	人数
4月30日(金)	山口	豊浦養護学校	2名	
5月 1日(火)	山口	須佐町 鈴野川小学校	9名	
5月11日(火)	山口	岩国市 通津小学校	59名	
5月12日(水)	山口	岩国市 踏川連合小学校	33名	
5月13日(木)	山口	周東町 周東町立連合小学校	73名	
5月13日(木)	山口	岩国市 東小学校	99名	
5月14日(金)	山口	下松市 豊井小学校	15名	
5月18日(火)	山口	本郷村 本郷村立連合小学校	41名	
5月18日(火)	山口	岩国市 愛宕小学校	136名	
5月20日(木)	山口	岩国市 麻里布小学校	217名	
5月20日(木)	山口	美川町 美川町連合小学校	17名	
5月24日(月)	山口	岩国市 装港小学校	15名	
5月25日(火)	山口	柳井市 柳井小学校	108名	
5月25日(火)	山口	岩国市 中洋小学校	33名	
5月28日(金)	山口	岩国市 翔ヶ丘小学校	92名	
6月 5日(土)	山口	徳地町 八坂中学校	48名	
6月16日(金)	山口	小野田市 小野田小学校PTA	40名	
7月 6日(火)	山口	由布院町 別府小学校PTA	38名	
7月25日(日)	山口	徳地町 中央小学校PTA	40名	
8月11日(水)	山口	長門市 仙崎小学校	47名	
9月 7日(火)	山口	秋芳町 秋芳町小中学校PTA	30名	
10月12日(火)	山口	菊川町 豊東小学校	44名	
2月24日(木)	山口	豊田町 豊田下小学校	23名	
3月 1日(水)	山口	豊浦養護学校	13名	
4月27日(火)	広島	広島市 吉島更小学校	118名	
4月27日(火)	広島	呉市 荒神町小学校	25名	
5月11日(火)	広島	井口明神小学校	74名	
5月11日(火)	広島	洛合東小学校	132名	
5月13日(木)	広島	東津淨小学校	69名	
5月13日(木)	広島	下浦刈原連合小学校	24名	
5月13日(木)	広島	口田東小学校	134名	
5月14日(金)	広島	舟入小学校	139名	
5月14日(金)	広島	段原小学校	62名	
5月14日(金)	広島	仁保小学校	122名	
5月16日(日)	広島	海田町 海田小学校	94名	
5月17日(月)	広島	倉掛小学校	89名	
5月17日(月)	広島	呉市 昭和西小学校	64名	
5月18日(火)	広島	可部南小学校	85名	
5月18日(火)	広島	仁方小学校	92名	
5月19日(水)	広島	鶴小学校	45名	
5月19日(水)	広島	和庄小学校	62名	
5月19日(水)	広島	緑井小学校	116名	
5月19日(水)	広島	安字小学校	93名	
5月20日(木)	広島	吉浦小学校	65名	
5月21日(金)	広島	昭和北小学校	120名	
5月21日(金)	広島	鈴ヶ峰小学校	119名	
5月26日(水)	広島	呉市 原小学校	30名	
5月26日(水)	広島	昭和南小学校	77名	
5月27日(木)	広島	広島市 中野小学校	98名	
5月27日(木)	広島	広島市 口田小学校	118名	
5月27日(木)	広島	広島市 梅林小学校	92名	
5月27日(木)	広島	西海田小学校	49名	
5月28日(金)	広島	広島市 萩ヶ園小学校	123名	
6月 2日(水)	広島	広島市 上安小学校	68名	
6月 3日(木)	広島	広島市 原南小学校	66名	
6月 4日(金)	広島	安東小学校	125名	
9月30日(木)	広島	鴨賀小学校	62名	
10月 7日(木)	広島	鷲吉屋小学校	26名	
10月 8日(金)	広島	緹町小学校	48名	
10月14日(木)	広島	八木小学校	90名	
10月16日(土)	広島	高南小学校	79名	
10月22日(金)	広島	小河内小学校	12名	
4月22日(木)	島根	六日市町 連合小学校	61名	
5月28日(金)	島根	益田市 吉田小学校	114名	
6月 4日(金)	島根	白原町 白原町小学校連合	63名	
6月10日(木)	島根	英都町 英都町立連合小学校	60名	
9月30日(木)	島根	益田市 東部小学校連合	71名	
10月 6日(水)	島根	津和野町 津和野小学校	50名	
10月28日(木)	島根	邑南町 芦田南小学校	53名	
7月23日(金)	福岡	福岡市 大原小学校	22名	
9月14日(火)	福岡	北九州市 東朽木小学校	50名	
10月22日(金)	福岡	北九州市 富野小学校	96名	
10月27日(水)	大阪	大阪市 大阪大学	41名	

(5)行政視察団体

視察日	都道府県	視察団体名	人数
4月 6日(火)	山口	下関市役所 中央病院	68名
4月 8日(木)	山口	下関市立中央病院	29名
5月28日(金)	山口	下関市保健所 保健予防課	35名
7月 6日(火)	山口	王喜ふることを学ぶ会	13名
7月13日(火)	山口	中央部地区健康推進委員会	30名
7月14日(水)	東京	文京区議会	5名
7月24日(土)	山口	下関市教育委員会 文化課	30名
7月30日(金)	山口	下関市役所 広報広聴課	74名
8月 9日(月)	山口	下関市教育委員会 青少年課	50名
10月 6日(水)	新潟	十日町市議会	10名
10月14日(木)	山口	下関市教育委員会 指導課	16名
10月17日(日)	山口	下関市教育委員会 文化課	150名
10月23日(土)	韓国	韓国豪尚道国楽団	36名
10月25日(月)	福岡	嘉飯山地区選舉啓発事業推進研究会	30名
11月 2日(火)	北海道	旭川市議会	3名
11月11日(木)	沖縄	浦添市議会	7名
11月11日(木)	山口	清末地区民生委員児童委員協議会	10名
11月13日(土)	佐賀	佐賀県教育厅 文化財課	15名
12月 8日(水)	中国	青島市公務員考察団	11名
12月12日(日)	奈良	奈良国立文化財研究所	2名
12月16日(木)	岡山	岡山県古代吉備文化財センター	2名
12月16日(木)	京都	京都文化博物館	2名
12月27日(月)	山口	下関市教育委員会 体育課	47名
1月 8日(土)	熊本	山鹿市立博物館	21名
2月 2日(水)	福岡	遠賀郡社会教育振興協議会	4名
3月 9日(木)	大阪	大阪府埋蔵文化財センター	1名

(6)任意アンケート

郷土学習室と受付横に博物館に対しての質問を載せたアンケート用紙を置き、入館者へ任意での調査にご協力頂いた。平成11年度(平成11年4月～平成12年1月まで)のアンケート協力者は634名で全体入館者の約3パーセントであった。(重複回答あり)

回答者内訳 *性別 男性184名 女性362名

*年齢 小学生—348名 中学生—118名 15～18才(高校生等)—31名

19～29才—49名 30～49才—87名 50～69才—44名 70才以上—14名

*市内・403名 市外・213名

①どうしてこの博物館を知りましたか?

人から聞いて—172名 学校で—161名 市の広報紙—38名

新聞・雑誌—39名

案内板を見た—21名

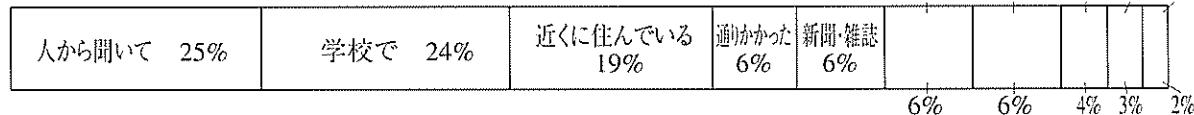
団体旅行—38名

近くに住んでいる—128名

通りかかった—44名

ポスター、パンフレット—29名

その他—11名



市内だけでなく市外の方も「人から聞いて」という回答が増えている。「学校で」の回答がもっと多くほとんどが小学生であった。また、「近くに住んでいる」という方もフリーマーケットや等の機会にたくさん来られるようになった。

②どんな交通手段を使って来られましたか?

JR—39名 觀光バス—53名 路線バス—13名 タクシー—1名

自動車—299名 自転車—104名 徒歩—96名 その他—5名

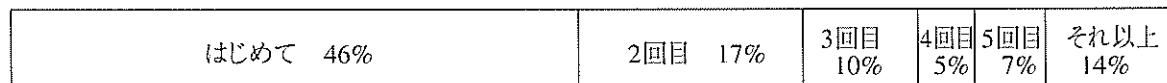


「自動車」が相変わらずトップ。市内の小学生等は「自転車」で来館する場合が多く、昨年度に比べ増えている。修学旅行や遠足などの学生が多いため「観光バス」なども昨年度より増えている。

③この博物館に来るのは何度目ですか?

はじめて—279名 2回目—101名 3回目—61名 4回目—31名

5回目—44名 それ以上—84名



昨年度に比べると「はじめて」の数より「2回目」～「それ以上」のリピーター来館者が増えている。

④常設展示の中でよかったですのに○、よくなかったものに×、をつけてください。

よかったです		よくなかったもの
1位	パソコンのQ&A	—499名
2位	土器パズル等体験コーナー	—472名
3位	貯蔵用竪穴と人形	—445名
4位	屋外に復元された竪穴住居	—418名
5位	弥生時代の展示	—409名
6位	屋外に復元された古墳	—401名
7位	古墳時代の展示	—401名
8位	海からの文化	—332名
9位	タイムトンネル	—368名
10位	映画「大陸からの贈り物」	—319名
1位	映画「大陸からの贈り物」	—72名
2位	タイムトンネル	—68名
3位	海からの文化	—55名
4位	貯蔵用竪穴と人形	—44名
5位	屋外に復元された古墳	—42名
5位	古墳時代の展示	—42名
7位	弥生時代の展示	—37名
8位	屋外に復元された竪穴住居	—34名
9位	パソコンのQ&A	—32名
10位	土器パズル等体験コーナー	—26名

⑤博物館のよかったです、悪かったところを書いてください。

よかったです

興味がもてるような工夫がある(クイズ、パズル、映像等)。展示の仕方がよい。歴史がよく分かる。設備がしっかりしてる。リアルに作ってある。きれい。展示品が多い。説明が分かり易い。静か。入館料が安い。子どもでも楽しく見られる。ゲーム感覚で学べる。自然がある。

悪かったところ

展示室が暗い。狭い。展示品がすくない。音楽が怖い。人形が怖い。漢字が難しい。写真が撮れない。ゲームが少ない。字が小さい。売店が休み。

以上、この質問で特に多かった回答を集約した。

⑥博物館でしたいことは何ですか?

土器作り—85名。土笛作り—44名。古代生活体験—16名。勾玉(アクセサリー)作り—10名。発掘体験—7名。古代人の衣装を着る—11名。火おこし体験—3名。土器に触る—3名。古代食の試食—8名。はにわ作り—3名。竪穴住居建築—4名。絵を描く—3名。映画を見る。—2名。稻作体験—1人。

16 購入図書

	書名	冊数		書名	冊数
1	月刊文化財 5 平成10年~2 平成12年	各1	53	大和出土の国宝・重要文化財	1
2	文化庁月報 366~377	各1	54	韓国考古学報 1~4(合本)	1
3	MUSEUM 559~564	各1	55	韓国考古学報 7	1
4	日本歴史 第612号~第622号	各1	56	韓国考古学報 12~34	各1
5	支那考古學論攷	1	57	環東中國海沿岸地域の先史文化	1
6	帶鉤の研究	1	58	考古学ジャーナル 453 '99	1
7	上田正昭著作集 1.5.6.7.8	各1	59	大阪市立博物館蔵品目録	1
8	江上波夫文化史論集 1—古代日本の民族と国家—	1	60	近畿の古墳文化	1
9	衣食住に見る日本の歴史 1~7	各1	61	化石・骨・木製品を探る	1
10	日本の生活道具百科 1~5	各1	62	石器・土器・装飾品を探る	1
11	日本の歴史博物館・史跡 3~7	各1	63	青銅鏡・銅鐸・鉄劍を探る	1
12	21世紀こども百科 歴史館	1	64	貿易陶磁研究 No.19	1
13	中国の歴史 人物事典	1	65	西海考古 創刊号	1
14	中国の歴史 1~10	各1	66	アジアで栽培された米の起源と分化	1
15	古墳出土須恵器集成 第3巻	1	67	湖南東部地域 石榔墓研究	1
16	考古学報 1999年 第2期~第4期	各1	68	大阪市文化財協会 研究紀要 第2号	1
17	縄文人の生活	1	69	国立扶餘博物館図録	1
18	卑弥呼	1	70	国立慶州博物館図録	1
19	武雄市内古窯跡群発掘調査報告書 VI	1	71	東北地方にみる律令国家と鉄・鐵器生産	1
20	古代文化 51-10~52-3	各1	72	板付	1
21	弥生文化論—稻作の開始と首長権の展開—	1	73	河内遺跡群の動態 III~VI	各1
22	山梨考古学論集 IV	1	74	月刊 文化財発掘出土情報 '99.4~'00.3	各1
23	科学技術一日中文化交流史叢書 第8巻一	1	75	石器の盛衰	1
24	地域に根ざして	1			
25	中世村落と地域性の考古学的研究	1			
26	古墳時代の比較考古学	1			
27	古代近江の遺跡	1			
28	古代青銅の流通と鑄造	1			
29	東アジアの古代文化 99号~102号	各1			
30	考古学ジャーナル 444'99~456'00	各1			
31	文物 1999-1 ~1999-6	各1			
32	筑波大学 先史学・考古学研究 第10号	1			
33	韓式系土器研究 IV	1			
34	韓式系土器研究 VI	1			
35	新潟県の考古学	1			
36	国立慶州博物館展示図録	1			
37	国立大邱博物館展示図録	1			
38	太宰府市史 建築・美術工芸資料編	1			
39	紀伊考古学研究 2	1			
40	紀要 第12号	1			
41	埴輪論叢 第1号	1			
42	吉野ヶ里遺跡展	1			
43	百濟	1			
44	光陰如矢	1			
45	南西諸島の先史時代	1			
46	先史学・考古学論究 III	1			
47	よみがえる弥生の都市と神殿	1			
48	卑弥呼誕生	1			
49	キトラ古墳学術調査報告書	1			
50	木器集成図録—近畿古代篇—	1			
51	古代東アジアの文化交流	1			
52	古代東アジアの鉄と倭	1			

17 図書寄贈先一覧

	書名	寄贈者
1	季刊考古学第52号～第64号	伊東照雄
2	季刊考古学別冊縄文時代における自然の社会化	伊東照雄
3	京都大学文学部陳列館	伊東照雄
4	鬼虎川遺跡出土遺跡にみる弥生人のくらし	伊東照雄
5	弥生時代の東大阪	伊東照雄
6	古代の石見	伊東照雄
7	大和を掘る	伊東照雄
8	福岡南バイパス関係埋蔵文化財調査報告	伊東照雄
9	福間バイパス関係埋蔵文化財調査報告	伊東照雄
10	炭焼古墳群	伊東照雄
11	雲加塚遺跡	伊東照雄
12	山陽新幹線関係埋蔵文化財調査概報昭和51.52年度	伊東照雄
13	山陽新幹線関係埋蔵文化財調査概報昭和50年度	伊東照雄
14	山陽新幹線関係埋蔵文化財調査概報昭和48年度	伊東照雄
15	山陽新幹線関係埋蔵文化財調査概報昭和47年度	伊東照雄
16	山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告第1集～第13集	伊東照雄
17	環境考古学入門	伊東照雄
18	環境考古学。I II	伊東照雄
19	所謂「帆立貝式古墳」の形態的分野について	伊東照雄
20	伊場遺跡の話	伊東照雄
21	上野鉢跡	伊東照雄
22	弥生時代の手工業の実態	伊東照雄
23	中ノ庄遺跡発掘調査報告	伊東照雄
24	亀甲形陶棺の製作工程について	伊東照雄
25	千葉県市原市小田部古墳の調査	伊東照雄
26	矢部遺跡細論	伊東照雄
27	安満遺跡発掘調査概用	伊東照雄
28	春林院古墳	伊東照雄
29	御殿・二之宮遺跡発掘調査報告	伊東照雄
30	羽佐島遺跡	伊東照雄
31	城南町の文化財	伊東照雄
32	亀井遺跡出土の大型植物遺体	伊東照雄
33	仲町遺跡	伊東照雄
34	縄文・弥生移行期の東日本系土器	小林青樹
35	古墳の航空大観[写真篇]	小田富士雄
36	百済研究第29輯	忠南大学校百済研究所
37	大城遺跡発掘調査報告書	水野正好
38	季刊明日香風69～72	水野正好
39	調査年報11	(財)北海道埋蔵文化財センター
40	利尻研究18号	利尻町立博物館
41	'99要覧	北海道開拓の村
42	根室市博物館開設準備室紀要第13号	根室市博物館開設準備室
43	ポンアロヨ4遺跡発掘調査概要報告書	白老町教育委員会
44	研究報告第9号	苦小牧市博物館
45	年報平成10年度版	苦小牧市博物館
46	弊舞遺跡調査報告書 IV	釧路市埋蔵文化財調査センター
47	小山崎遺跡第2次発掘調査概報	山形県立博物館
48	山形県立博物館研究報告第20号	山形県立博物館
49	山形県立博物館報平成11年度	山形県立博物館
50	山形県立博物館収蔵資料目録歴史資料目録 II	山形県立博物館
51	袖の世界—伝統の技と美—	山形県立博物館
52	市民文化財研究員活動報告書3	仙台市富沢道路保存館
53	動物デザイン考古学第3号	仙台市富沢道路保存館
54	地底の森ミュージアム年報第3号	仙台市富沢道路保存館
55	桃生城跡 VII	多賀城跡調査研究所
56	多賀城跡	多賀城跡調査研究所
57	桃生城跡 VI	多賀城跡調査研究所
58	桃生城跡 IV	多賀城跡調査研究所
59	金属博物館紀要 31	金属博物館
60	二本松市の指定文化財1999年版	二本松市教育委員会
61	白河を駆け抜けた作家たち	白河市歴史民俗資料館
62	金成遺跡 (II)	北上市教育委員会
63	横山遺跡	北上市教育委員会
64	横欠遺跡 (本文編)	北上市教育委員会
65	横町遺跡発掘調査概報	北上市教育委員会
66	北上遺跡群 (1995年度)	北上市教育委員会
67	蟹沢館遺跡発掘調査概報	北上市教育委員会
68	滝ノ沢遺跡 (II)	北上市教育委員会
69	森下遺跡	北上市教育委員会

	書名	寄贈者
70	蒼前森遺跡	北上市教育委員会
71	横欠遺跡 (図版編)	北上市教育委員会
72	北上遺跡群 (1993.1994年度)	北上市教育委員会
73	金成遺跡 (I)	北上市教育委員会
74	成田遺跡 (II)	北上市教育委員会
75	北上市埋蔵文化財年報 (1991年度)	北上市教育委員会
76	北上市埋蔵文化財年報 (1993年度)	北上市教育委員会
77	北上市埋蔵文化財年報 (1994年度)	北上市教育委員会
78	北上市埋蔵文化財年報 (1995年度)	北上市教育委員会
79	岩手県立博物館収蔵資料目録第14集	岩手県立博物館
80	円戸寺遺跡	花巻市教育委員会
81	平成10年度花巻市内遺跡発掘調査報告書	花巻市教育委員会
82	年報第16号	八戸市博物館
83	八戸市博物館収蔵資料目録	八戸市博物館
84	今純三作品目録	青森県立郷土館
85	青森県立郷土館第26号	青森県立郷土館
86	青森県立郷土館収蔵資料図録第1集	富士吉田市歴史民俗博物館
87	絵葉書にみる富士登山	帝京大学山梨文化財研究所
88	遺跡・遺物から何を読みとるか (II) 資料集	(財) 栃木県文化振興財団埋蔵文化財センター
89	埋蔵文化財センター年報第9号	今市市歴史民俗資料館
90	いまいち市史資料編・近現代・	小山市立博物館
91	乙女かわらの里公園	小山市立博物館
92	雷さまと風の神ーくらしとお天気ー	小山市立博物館
93	小山市立博物館紀要第6号	小山市立博物館
94	小山市立博物館紀要第16号	小山市立博物館
95	中世の祇園城	小山市立博物館
96	赤筑跡遺跡群 集落編 II	日本窯業史研究所
97	藤林遺跡	日本窯業史研究所
98	馬場3丁目横穴墓群	日本窯業史研究所
99	折本遺跡	日本窯業史研究所
100	町屋遺跡調査概報 I	日本窯業史研究所
101	寺野遺跡 VII	栃木県教育委員会
102	寺野遺跡 VI	栃木県教育委員会
103	寺野遺跡 I	栃木県教育委員会
104	寺野遺跡 V	栃木県立しおつけ風土記の丘資料館
105	仏堂のある風景—古代のムラと仏教信仰—	栃木県立しおつけ風土記の丘資料館
106	栃木県立しおつけ風土記の丘資料館年報第13号	風土記の丘資料館
107	栃木県立博物館研究紀要一人文一第16号	栃木県立博物館
108	栃木県の仏像	栃木県立博物館
109	麻 大いなる織維	栃木県立博物館
110	ユネスコ世界遺産年報	(社) 日本ユネスコ協会連盟
111	博物館指導者研究協議会報告書平成10年度	(財) 日本博物館協会
112	第46回全国博物館大会報告書	(財) 日本博物館協会
113	日本の歴史博物館・史跡2	あかね書房
114	日本の歴史博物館・史跡1	あかね書房
115	くにたち郷土文化館年報第3号	くにたち郷土文化館
116	江戸近郊の跡物師谷保村鶴岡跡物師の業績	くにたち郷土文化館
117	くにたちを愛した山口瞳	くにたち郷土文化館
118	にたち郷土文化館研究紀要2	くにたち郷土文化館
119	畿内王権と古代の東国野毛大塚古墳の時代	世田谷区立郷土資料館
120	これは何でしょうかあと3ー記銘民具展ー	世田谷区立郷土資料館
121	畿内王権と古代の東国野毛大塚古墳の時代	保谷市教育委員会
122	下野谷遺跡	八王子市教育委員会
123	流山高槻遺跡 II	八王子市教育委員会
124	尾崎遺跡 II	八王子市教育委員会
125	南八王子市地区遺跡調査報告13	八王子市教育委員会
126	八王子市埋蔵文化財年報平成10年度	八王子市教育委員会
127	梅坪・沖の前遺跡	八王子市教育委員会
128	出光博物館館報109	出光美術館
129	出光美術館館報108	出光美術館
130	出光美術館館報106	出光美術館
131	出光美術館研究紀要第5号	出光美術館
132	出光美術館館報107	出光美術館
133	出光美術館研究紀要第5号	出光美術館
134	豊島馬場遺跡 II	北区教育委員会
135	十条久保遺跡	北区教育委員会

	書名	寄贈者		書名	寄贈者
136	品川歴史館資料目録 民俗資料編二	品川区立品川歴史資料館	213	八千代市坊山遺跡	(財)千葉県文化財センター
137	品川歴史館資料目録三田用水普通水利組合文書	品川区立品川歴史資料館	214	千葉市地蔵山遺跡	(財)千葉県文化財センター
138	品川区立品川歴史館年報平成7.8年度	品川区立品川歴史資料館	215	中台A遺跡	(財)千葉県文化財センター
139	國學院大學日本文化研究所紀要第84輯	国学院大学日本文化研究所	216	今、古代史がおもろいー出土文字からさぐる房総の古代ー	(財)千葉県文化財センター
140	國學院大學日本文化研究所紀要第83輯	国学院大学日本文化研究所	217	袖ヶ浦市上泉遺跡	(財)千葉県文化財センター
141	委わら細工の輝き	大田区立郷土博物館	218	田越台遺跡	(財)山武郡市文化財センター
142	芹沢圭介作品展	大田区立郷土博物館	219	中台大木戸遺跡893-5地点	(財)山武郡市文化財センター
143	製作工程の考古学	大田区立郷土博物館	220	松尾蒲公序跡	(財)山武郡市文化財センター
144	弥次さん喜多さん旅をするー旅人100人に聞く江戸時代の旅ー	大田区立郷土博物館	221	古宿遺跡	(財)山武郡市文化財センター
145	江戸幕府の代官	大田区立郷土博物館	222	宮郷台遺跡(地蔵873-1地点)	(財)山武郡市文化財センター
146	大田区立郷土博物館紀要代9号	大田区立郷土博物館	223	上滝ノ下遺跡	(財)山武郡市文化財センター
147	大田区の船大工・海苔の船を造るー	大田区立郷土博物館	224	鶯山入遺跡	(財)山武郡市文化財センター
148	よみがえる大田区の風景	大田区立郷土博物館	225	松尾城跡 II	(財)山武郡市文化財センター
149	ミクロネシアー南の島々の航海者とその文化ー	大田区立郷土博物館	226	庚申遺跡(1076地点)	(財)山武郡市文化財センター
150	私たちのモースー日本を愛した大森貝塚の父ー	大田区立郷土博物館	227	大台西藤ヶ作遺跡	(財)山武郡市文化財センター
151	大田区海苔物語	大田区立郷土博物館	228	山田神田 II 遺跡	(財)山武郡市文化財センター
152	大昔の大田区ー原始・古代の遺跡ガイドブックー	大田区立郷土博物館	229	堀川館跡	(財)山武郡市文化財センター
153	工場まちの探検ガイド	大田区立郷土博物館	230	青馬大明神遺跡	(財)香取郡市文化財センター
154	セーラムの歴史ー日本友好のかけ橋となった街ー	大田区立郷土博物館	231	館山遺跡	(財)香取郡市文化財センター
155	麦わら細工の輝き	大田区立郷土博物館	232	鶴崎天神台遺跡	(財)香取郡市文化財センター
156	馬込文士村ガイドブック	大田区立郷土博物館	233	事業報告8	(財)香取郡市文化財センター
157	よみがえる大田区の風景	大田区立郷土博物館	234	古屋敷遺跡	(財)香取郡市文化財センター
158	大森及び周辺地域の海苔生産用具	大田区立郷土博物館	235	浅間1号墳・植房宮作遺跡	(財)香取郡市文化財センター
159	復刻版博物館ノート51~100	大田区立郷土博物館	236	杉内遺跡	(財)香取郡市文化財センター
160	綾乱、アジアの仮面ー新界への昇華、世俗への降臨ー	天理ギャラリー	237	四角山遺跡	(財)香取郡市文化財センター
161	上富士前街遺跡第II地点	文京区教育委員会	238	四谷内谷津遺跡	(財)香取郡市文化財センター
162	諏訪町遺跡	文京区教育委員会	239	向仲野遺跡	(財)香取郡市文化財センター
163	明治大学博物館研究報告第4号	明治大学博物館事務室	240	中里西口遺跡	(財)香取郡市文化財センター
164	明治大学博物館図書目録第1号	明治大学博物館事務室	241	下男山遺跡	(財)香取郡市文化財センター
165	明治大学博物館年報1998年度	明治大学博物館事務室	242	長部山遺跡	(財)香取郡市文化財センター
166	明治大学芸芸養成課程紀要10	明治大学博物館事務室	243	小見川城跡	(財)香取郡市文化財センター
167	明治大学芸芸養成課程紀要14	明治大学博物館事務室	244	谷津遺跡	(財)香取郡市文化財センター
168	杉並区立郷土博物館研究紀要年報平成9年度版	杉並区立郷土博物館	245	中ノ台遺跡A地区	(財)香取郡市文化財センター
169	東京大学構内遺跡調査研究年報2	東京大学埋蔵文化財調査室	246	雀野谷大屋戸遺跡	(財)香取郡市文化財センター
170	西欧近代の版画と素描ー岩井尊人コレクションよりー	東京天理ギャラリー	247	かのへ塚・寺ノ上遺跡	(財)香取郡市文化財センター
171	人類誌集報1999	東京都立大学人文部	248	キサキ遺跡	(財)香取郡市文化財センター
172	成増新田原遺跡発掘調査報告書	板橋区教育委員会	249	反鍊遺跡	(財)香取郡市文化財センター
173	小豆沢東原遺跡発掘調査報告書	板橋区教育委員会	250	桜之宮1号墳	(財)香取郡市文化財センター
174	加賀一丁目(東京家政大学構内)遺跡発掘調査報告書	板橋区教育委員会	251	桜田野馬土手跡	(財)香取郡市文化財センター
175	志村坂上遺跡F地点発掘調査報告書	板橋区教育委員会	252	香取新福寺遺跡	(財)香取郡市文化財センター
176	志村遺跡第6地点発掘調査報告書	板橋区教育委員会	253	雀野谷大屋戸 II 遺跡	(財)香取郡市文化財センター
177	四葉宮前進跡発掘調査報告書	板橋区教育委員会	254	津宮毘沙門遺跡	(財)香取郡市文化財センター
178	前野町熊野北遺跡発掘調査報告書	板橋区教育委員会	255	月輪神社遺跡	(財)香取郡市文化財センター
179	志村城山遺跡第4地点発掘調査報告書	板橋区教育委員会	256	御座ノ内遺跡	(財)香取郡市文化財センター
180	板橋区文化財年報3	板橋区教育委員会	257	城山4号墳	(財)香取郡市文化財センター
181	赤塚瀧の上遺跡発掘調査報告書	板橋区教育委員会	258	五十塙古墳群	(財)香取郡市文化財センター
182	志村坂上遺跡G地点発掘調査報告書	板橋区教育委員会	259	各号戸遺跡	(財)香取郡市文化財センター
183	後ヶ谷戸遺跡	武藏村山市教育委員会	260	大鯉遺跡	(財)香取郡市文化財センター
184	後ヶ谷戸遺跡の出土品	武藏村山市教育委員会	261	台阿らく遺跡	(財)香取郡市文化財センター
185	吉祥寺南町1丁目遺跡J地点	武藏野市教育委員会	262	城山3号墳	(財)香取郡市文化財センター
186	武藏野市埋蔵文化財調査報告集3	武藏野市教育委員会	263	小野女台遺跡	(財)香取郡市文化財センター
187	港郷土資料館報17	港区立港郷土資料館	264	後田遺跡	(財)香取郡市文化財センター
188	雁木坂上遺跡発掘調査報告書	港区立港郷土資料館	265	多古台遺跡群No.8地点	(財)香取郡市文化財センター
189	研究紀要5	港区立港郷土資料館	266	縄幡カジ山遺跡群	(財)香取郡市文化財センター
190	福生市歴史物語	福生市教育委員会	267	地蔵原鳳凰遺跡	(財)香取郡市文化財センター
191	埋蔵文化財調査報告	練馬区教育委員会	268	伊地山遺跡	(財)香取郡市文化財センター
192	小西溜井一水元公園の自然と文化ー	葛飾区郷土と天文の博物館	269	乞喰堆遺跡	(財)香取郡市文化財センター
193	葛西城中世の暮らしと戦を知る	葛飾区郷土と天文の博物館	270	織幡妙見堂遺跡 II	(財)香取郡市文化財センター
194	葛飾区の年中行事	葛飾区郷土と天文の博物館	271	西塚南古墳群	(財)香取郡市文化財センター
195	堀切と花菖蒲	葛飾区郷土と天文の博物館	272	岩部遺跡	(財)香取郡市文化財センター
196	鬼塚・鬼塚遺跡 VI	葛飾区郷土と天文の博物館	273	高岡清水遺跡	(財)香取郡市文化財センター
197	柴又八幡神社古墳 II	葛飾区郷土と天文の博物館	274	仲ノ台遺跡	(財)香取郡市文化財センター
198	際物作りの担い手	葛飾区郷土と天文の博物館	275	今郡力子内遺跡	(財)香取郡市文化財センター
199	博物館研究紀要第5号	葛飾区郷土と天文の博物館	276	神代夏方遺跡・稻荷入塚跡・稻荷入1号塚・2号塚	(財)香取郡市文化財センター
200	博物館年報第7号	葛飾区郷土と天文の博物館	277	青馬新西塚遺跡	(財)香取郡市文化財センター
201	江戸・東京のやきもの	葛飾区郷土と天文の博物館	278	大寺山洞穴第7次発掘調査概報	千葉大学文学部考古学専攻室
202	巣鴨町 III	豊島区教育委員会	279	大寺山洞穴第6次発掘調査概報	千葉大学文学部考古学研究室
203	染井 V	豊島区教育委員会	280	貝塚博物館紀要第26号	千葉県加曽利貝塚博物館
204	青山史学第17号	翻訳大文庫文学部文学研究室	281	貝層の研究 I	千葉県加曽利貝塚博物館
205	青梅宿一町の生活・文芸・祭礼一	青梅市郷土博物館	282	国府台 9	和洋女子大学文化資料館
206	下総町不光寺遺跡	(財)千葉県文化財センター	283	平成10年度四街道市内遺跡発掘調査報告書	四街道市教育委員会
207	研究紀要19	(財)千葉県文化財センター	284	歴博95	国立歴史民俗博物館
208	研究連続誌第54号	(財)千葉県文化財センター	285	歴博96	国立歴史民俗博物館
209	研究連続誌第53号	(財)千葉県文化財センター	286	歴博97	国立歴史民俗博物館
210	千葉東南部ニュータウン18	(財)千葉県文化財センター	287	歴博94	国立歴史民俗博物館
211	佐倉市南広遺跡	(財)千葉県文化財センター	288	国立歴史民俗博物館館蔵資料概要	国立歴史民俗博物館
212	千葉北部地区新市街地造成整備事業関連埋蔵文化財調査報告書 I	(財)千葉県文化財センター	289	国立歴史民俗博物館研究報告第80集	国立歴史民俗博物館

	書名	寄贈者		書名	寄贈者
290	国立歴史民俗博物館研究報告第82集	国立歴史民俗博物館	367	市内遺跡 IV	藤岡市教育委員会
291	国立歴史民俗博物館研究年報6	国立歴史民俗博物館	368	藤岡北山B遺跡	藤岡市教育委員会
292	歴博98	国立歴史民俗博物館	369	F21・F22藤岡平地区遺跡群	藤岡市教育委員会
293	国立歴史民俗博物館研究報告78	国立歴史民俗博物館	370	中栗須瀧川II遺跡	藤岡市教育委員会
294	国立歴史民俗博物館研究報告第79集	国立歴史民俗博物館	371	神明上遺跡	藤岡市教育委員会
295	国立歴史民俗博物館研究報告第77集	国立歴史民俗博物館	372	杣久保遺跡	藤岡市教育委員会
296	国立歴史民俗博物館研究報告第81集	国立歴史民俗博物館	373	市内遺跡 V	藤岡市教育委員会
297	国立歴史民俗資料館研究年報	国立歴史民俗博物館	374	赤城村歴史資料館紀要 第1集	赤城村歴史資料館
298	平成10年度市川市内遺跡発掘調査報告	市川市教育委員会	375	装身具展—古代人のアクセサリー	高崎市観音塚考古資料館
299	市立市川考古博物館研究紀要第1号	市川市教育委員会	376	埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書	大和市教育委員会
300	市立市川考古博物館年報第26号	市川市教育委員会	377	大和市No.210遺跡	大和市教育委員会
301	市立市川考古博物館年報第25号	市川市教育委員会	378	千代仲ノ町遺跡第I地点	小田原市教育委員会
302	市立市川考古博物館年報第24号	市川市教育委員会	379	国指定史跡小田原城跡 銅門復元工事報告書	小田原市教育委員会
303	市立市川考古博物館研究紀要第2号	市川市教育委員会	380	小田原城三の丸 服部孝太郎邸跡第I地点	小田原市教育委員会
304	向台貝塚資料図譜	市川市教育委員会	381	小田原城下 中宿町遺跡第III地点	小田原市教育委員会
305	平成10年度成田市内遺跡発掘調査報告書	成田市教育委員会	382	平成8年度遺跡範囲確認調査(2)	小田原市教育委員会
306	西原遺跡	我孫子市教育委員会	383	千代仲ノ町遺跡第III地点 平成8年度遺跡範囲確認調査(1)	小田原市教育委員会
307	別当地遺跡・牧栗西遺跡	我孫子市教育委員会	384	小田原城三の丸 大久保雅楽介邸跡第V地点	小田原市教育委員会
308	千束台遺跡群	木更津市教育委員会	385	小田原城下 櫛干橋町遺跡第V地点	小田原市教育委員会
309	新開遺跡発掘調査報告書	木更津市教育委員会	386	平塚市博物館研究報告 22	平塚市博物館
310	大畠台遺跡群発掘調査報告書III	木更津市教育委員会	387	平塚市博物館年報 22	平塚市博物館
311	金鈴塚古墳・椿古墳群・松山遺跡	木更津市教育委員会	388	博物館ガイド	平塚市教育委員会
312	菫子遺跡群発掘調査報告書 I	木更津市教育委員会	389	高林寺遺跡他	平塚市教育委員会
313	木更津市文化財調査集報 II	木更津市教育委員会	390	諏訪原B・高林寺	平塚市教育委員会
314	木更津市史富来田編	木更津市教育委員会	391	平塚市真田・北全目遺跡群発掘調査報告書11~3区	平塚市真田・北全目遺跡調査会
315	東絶文化財センター年報4	東絶文化財センター	392	王子ノ台遺跡 第II卷歴史時代編	東洋大学校内遺跡発掘調査会
316	松戸市立博物館年報 第6号	松戸市立博物館	393	絵図・古文書で探る 村と名主	横浜市歴史博物館
317	松戸市立博物館紀要第6号	松戸市立博物館	394	平成9年度版 年報	横浜市歴史博物館
318	貝塚を考える	松戸市立博物館	395	横浜市歴史博物館資料目録 第6集	横浜市歴史博物館
319	加地区遺跡群 IV	流山市教育委員会	396	たこ尻あがれ伝統風づくり展	横浜市歴史博物館
320	平成10年度 流山市市内遺跡発掘調査報告書	流山市教育委員会	397	中世よほほの学僧御歎・戦国に生きた真言密教僧の足跡	横浜市歴史博物館
321	桐ヶ谷新田第II遺跡発掘調査報告書	流山市教育委員会	398	兵の時代古代末期の東国社会	横浜市歴史博物館
322	鷺沼台1丁目遺跡A地点発掘調査報告書	習志野市教育委員会	399	兵の時代古代末期の東国社会	横浜市歴史博物館
323	飛ノ台貝塚第4次発掘調査報告書	船橋市教育委員会	400	新収蔵資料展'98	横浜市歴史博物館
324	本郷台遺跡	船橋市教育委員会	401	横浜発掘物語 目で見る発掘の歴史	横浜市歴史博物館
325	峰台遺跡	野田市郷土博物館	402	収蔵資料展 II	横浜市歴史博物館
326	野田文化の芽ばえ—明治から昭和中期の社会教育史-	鎌ヶ谷市郷土資料館	403	吉井城山	横須賀市教育委員会
327	鎌ヶ谷の野鳥 1999	鎌ヶ谷市郷土資料館	404	埋蔵文化財発掘調査概報集 IV	横須賀市教育委員会
328	平成10年度 鎌ヶ谷市内遺跡発掘調査概報	鎌ヶ谷市郷土資料館	405	長浜ノ上遺跡	横須賀市教育委員会
329	鎌ヶ谷市史研究 第12号	鎌ヶ谷市郷土資料館	406	矢畑金山遺跡 II	茅ヶ崎市教育委員会
330	古代金石文と倭の五王の時代	埼玉県立さきたま資料館	407	西久保広町遺跡	茅ヶ崎市教育委員会
331	川崎市民ミュージアム 紀要第11集	川崎市民ミュージアム	408	上ノ町・広町遺跡	茅ヶ崎市教育委員会
332	研究紀要 第14号	戸田市立郷土博物館	409	文化資料館調査研究報告 7	馬の博物館
333	寺子屋から明治期の学校風景—学校教育の原点を求めてー	戸田市立郷土博物館	410	版画にされた馬ールネッサンスから現代までー	馬の博物館
334	市内遺跡調査報告5	新潟市歴史文化財調査センター	411	馬の博物館研究紀要 第11号	馬の博物館
335	和田遺跡第9次調査	新潟市歴史文化財調査センター	412	馬事文化財年報 通刊第20号	馬の博物館
336	浜戸戸遺跡21次	春日部市立教育委員会	413	馬ふしげ展—珍品奇品から幻獣までー	馬の博物館
337	小渕下北遺跡・八木崎遺跡2次・花積内谷耕地遺跡5次	春日部市立教育委員会	414	襲御免	上高津貝ふるさと歴史の広場
338	かすがべ写真館	春日部市立教育委員会	415	焼き物にみる中世の世界	上高津貝ふるさと歴史の広場
339	泉水山・富士谷遺跡第63地点 発掘調査報告書	朝霞市教育委員会	416	常名台の古代のむら	上高津貝ふるさと歴史の広場
340	後根遺跡第1地点、追合・立出遺跡第1地点発掘調査報告書	朝霞市教育委員会	417	新田遺跡	上高津貝ふるさと歴史の広場
341	平沢・原畠遺跡第8地点発掘調査報告書	朝霞市教育委員会	418	六十塚遺跡	上高津貝ふるさと歴史の広場
342	網田優家文書目録	朝霞市教育委員会	419	前谷遺跡群(東原遺跡・前谷遺跡・前谷西遺跡)・東原銀杏塚	上高津貝ふるさと歴史の広場
343	十三塚古墳 黒浜耕地遺跡	蓮田市教育委員会	420	三夜原東遺跡・新堀東遺跡・壺杯清水西遺跡	上高津貝ふるさと歴史の広場
344	井沼の石造物	蓮田市教育委員会	421	上高津貝ふるさと歴史の広場年報第5号	上高津貝ふるさと歴史の広場
345	行田市文化財年報 平成8.9年度	行田市教育委員会	422	古河歴史博物館年報8	古河歴史博物館
346	市内遺跡確認調査報告書 平成9年度調査	行田市教育委員会	423	土浦市立博物館紀要 第9号	土浦市立博物館
347	平成10年度 市内遺跡発掘調査報告書	前橋市教育委員会	424	土浦市立博物館年報 第12号	土浦市立博物館
348	西田IV遺跡	前橋市教育委員会	425	所沢市立埋蔵文化財調査センター年報 4	三条市教育委員会
349	横手湯田IV遺跡	前橋市教育委員会	426	年報第 20号	加茂市民俗資料館
350	新井大田閑II遺跡・萩原III遺跡	前橋市教育委員会	427	内野手遺跡・経塚山遺跡	十日町市博物館
351	内堀遺跡群 X	前橋市教育委員会	428	平成10年度加茂市内遺跡確認調査報告書	柏崎市立博物館
352	六供下堂・遺跡	前橋市教育委員会	429	国鉄 笹山遺跡—国宝指定笹山遺跡出土品のすべて	豊栄市博物館
353	西田III遺跡	前橋市教育委員会	430	柏崎市立博物館 館報 第13号	上田市教育委員会
354	横手湯田III遺跡・佐伯田II遺跡・西普沢司II遺跡・下増田塗II遺跡	前橋市教育委員会	431	葛塚遺跡	上田市教育委員会
355	萩原II遺跡	前橋市教育委員会	432	竜籠田(築地)遺跡	上田市教育委員会
356	大友宅地添遺跡	前橋市教育委員会	433	浦田B 遺跡	上田市教育委員会
357	櫛島川端II遺跡	前橋市教育委員会	434	銀杏木・宮原遺跡	上田市教育委員会
358	箱田川西遺跡	前橋市教育委員会	435	八幡裏遺跡 V	上田市教育委員会
359	横手湯田II遺跡・西田II遺跡	前橋市教育委員会	436	高田遺跡 III	上田市教育委員会
360	大室小学校校庭II遺跡	前橋市教育委員会	437	八幡裏遺跡 IV	上田市教育委員会
361	宮崎油町遺跡	富岡市教育委員会	438	上沖(大沢)遺跡	上田市教育委員会
362	石原東古墳群	渋川市教育委員会	439	平成10年度市内遺跡	上田市教育委員会
363	群馬県立歴史博物館紀要第20号	群馬県立歴史博物館	440	西之手遺跡	上田市教育委員会
364	年報 (11)	藤岡市教育委員会	441	佐久市埋蔵文化財年報7	佐久市教育委員会
365	年報 (10)	藤岡市教育委員会	442	中西ノ久保遺跡 II・仲田遺跡・寺畠遺跡 II	佐久市教育委員会
366	年報 (13)	藤岡市教育委員会	443	供養塚遺跡	佐久市教育委員会

	書名	寄贈者		書名	寄贈者
444	前藤部遺跡	佐久市教育委員会	520	名古屋城三の丸遺跡第10次発掘調査の概要	名古屋市見晴台考古市資料館
445	高山遺跡 I・II	佐久市教育委員会	521	よみがえる環濠集落－弥生時代後期の名古屋－	名古屋市見晴台考古市資料館
446	觀音堂遺跡	佐久市教育委員会	522	豊三蔵通遺跡 第14次調査の概要	名古屋市見晴台考古市資料館
447	市内遺跡発掘調査報告書 1997	佐久市教育委員会	523	見晴台教室 '98	名古屋市見晴台考古市資料館
448	市道遺跡 II	佐久市教育委員会	524	東邦ガス工事に伴う埋蔵文化財調査報告書	名古屋市見晴台考古市資料館
449	西一本柳遺跡 III・IV	佐久市教育委員会	525	埋蔵文化財調査報告書 32	名古屋市見晴台考古市資料館
450	五里田遺跡	佐久市教育委員会	526	埋蔵文化財調査報告書 30	名古屋市見晴台考古市資料館
451	南近津遺跡	佐久市教育委員会	527	津賀田古墳発掘調査報告書	名古屋市見晴台考古市資料館
452	北原遺跡	塙尻市教育委員会	528	朝日遺跡第3.4次発掘調査報告書	名古屋市見晴台考古市資料館
453	平出博物館紀要 第16集	塙尻市立平出博物館	529	千音寺遺跡発掘調査概要報告書	名古屋市見晴台考古市資料館
454	平出博物館ノート 13	塙尻市立平出博物館	530	高藏遺跡 第20次発掘調査報告書	名古屋市見晴台考古市資料館
455	天王垣外・榎垣外・地獄沢遺跡発掘調査報告書	岡谷市教育委員会	531	見晴台遺跡第34.36.37.38次発掘調査の記録	名古屋市見晴台考古市資料館
456	掘り出された古代の屋代	更埴市森井奈良探古館	532	平田城跡第2次発掘調査報告書	名古屋市見晴台考古市資料館
457	埴輪が語る科野のクニ	諏訪市博物館	533	旧紫川遺跡第7次発掘調査概要報告書	名古屋市見晴台考古市資料館
458	常設展示ガイドブック	諏訪市博物館	534	名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第1号	名古屋市見晴台考古市資料館
459	平成2.3年度 諏訪市博物館年報	諏訪市博物館	535	名古屋市見晴台考古資料館年報 16	名古屋市見晴台考古市資料館
460	平成6年度 諏訪市博物館年報	諏訪市博物館	536	歴史民俗資料館年報 10	大阪府歴史民俗資料館
461	平成7年度 諏訪市博物館年報	諏訪市博物館	537	弥生の技術革新野 烧きから覆い焼きへ	安城市歴史博物館
462	平成8年度 諏訪市博物館年報	諏訪市博物館	538	岡崎市史研究 第20号	岡崎市教育委員会
463	平成9年度 諏訪市博物館年報	諏訪市博物館	539	岡崎市史研第19号	岡崎市教育委員会
464	縄文土器のふしげな世界第二章	諏訪市博物館	540	小針遺跡	岡崎市教育委員会
465	なつかしのあの頃	諏訪市博物館	541	岡崎市史研究 第17・18号併号	岡崎市教育委員会
466	黄金と鉄一信州の金属鉱山一	長野市立博物館	542	岡崎市史研究 第16号	岡崎市教育委員会
467	過去が見えてきた!	長野市立博物館	543	岡崎市史研究 第15号	岡崎市美術博物館
468	歴史 3 諸家文書目録(1)	長野市立博物館	544	新たな信仰に生きる蓮如・ルター・民衆	岡崎市美術博物館
469	須坂・いま・昔 2	須坂市立博物館	545	ニューヨーク・ニュージャージー浮世絵コレクション展	岡崎市美術博物館
470	針池湖遺跡発掘調査報告書	飯山市教育委員会	546	幕末明治の天才絵師 河鍋暎斎展	岡崎市美術博物館
471	上野遺跡 X	飯山市教育委員会	547	ブーシキン美術館所蔵 イタリア・パロック絵画展	岡崎市美術博物館
472	太子林遺跡第2地点概要報告書	飯山市教育委員会	548	天使と天女 天界からのメッセージ	岡崎市美術博物館
473	段丘に住む弥生人の土地利用	飯山市立考古博物館	549	黄金のシルクロード展 東西文明の交差を訪ねて	岡崎市美術博物館
474	福村城址	駒ヶ根市立博物館	550	江戸歌舞伎の美と心	岡崎市美術博物館
475	上の原III遺跡・小鍛冶古墳群	駒ヶ根市立博物館	551	家康の生きた時代 東と西の出会い	岡崎市美術博物館
476	狐久保遺跡(第3次発掘調査)	駒ヶ根市立博物館	552	通かなるエジプト展 古代人の生活を探る	岡崎市美術博物館
477	辻沢南遺跡	駒ヶ根市立博物館	553	ジャズの街角	岡崎市美術博物館
478	反目南遺跡	駒ヶ根市立博物館	554	ジャズの街角 パートII	岡崎市美術博物館
479	図録 敦賀の文化財	敦賀市教育委員会	555	岡崎市美術博物館年報 平成8.9年度	岡崎市美術博物館
480	みなど敦賀の歴史展	敦賀市立博物館	556	大ザビエル展	岡崎市美術博物館
481	モノから学ぶ	福井県立博物館	557	日本の版画 1911.1920	岡崎市美術博物館
482	福井県立郷土歴史博物館研究紀要 第7号	福井県立郷土歴史博物館	558	シルクロードの煌めき 中国・美の至宝	岡崎市美術博物館
483	福井県立郷土歴史博物館館報 復刊第24号	福井県立郷土歴史博物館	559	小針遺跡 古代のムラを掘る	岡崎市郷土館
484	興道寺遺跡	美浜町教育委員会	560	郷土館 建物の歴史と所蔵品展	岡崎市郷土館
485	上野市埋蔵文化財年報 5	上野市教育委員会	561	毛受遺跡	愛知県埋蔵文化財センター
486	堂垣内・大多田遺跡発掘調査報告	上野市教育委員会	562	細口下1号窯・鴻ノ巣古窯・高針原1号窯	愛知県埋蔵文化財センター
487	上野城下町遺跡発掘調査報告	上野市教育委員会	563	門間沼遺跡	愛知県埋蔵文化財センター
488	三反田遺跡発掘調査報告	上野市教育委員会	564	三ツ井遺跡	愛知県埋蔵文化財センター
489	城之越遺跡(2次)発掘調査報告	上野市教育委員会	565	馬引横手遺跡	愛知県埋蔵文化財センター
490	堂垣内・大多田遺跡発掘調査報告	上野市教育委員会	566	大脇城遺跡	愛知県埋蔵文化財センター
491	伊勢亀山城跡発掘調査報告書 III	亀山市教育委員会	567	森岡第1号窯跡群	愛知県埋蔵文化財センター
492	むかしのものからわかること—これが歴史博物館のしごとだ!—	亀山市歴史博物館	568	観音前遺跡発掘調査報告書	新城市教育委員会
493	亀山市歴史博物館年報第4号	亀山市歴史博物館	569	小畠のおためし	新城市教育委員会
494	近世のほの1日—江戸時代の人々が見たヤマトケル墓—	亀山市歴史博物館	570	今水寺遺跡発掘調査報告書	新城市教育委員会
495	神宮の博物館	式年遷宮記念待宮美術館	571	尾張古代史セミナー(3)一まつりと信仰一	春日井市教育委員会
496	青の表現一歌会始御題にちなみ	式年遷宮記念待宮美術館	572	かすがべの宝の展示案内	春日井市郷土資料館
497	人間国宝の技と美—伝統工芸40余年の精華—	式年遷宮記念待宮美術館	573	上浜田遺跡発掘調査報告	東海市教育委員会
498	幻の宮伊勢斎宮	齋宮历史博物館	574	桜ヶ丘ミュージアム年報 平成10年度	桜ヶ丘ミュージアム
499	津市埋蔵文化財センター年報 3	津市埋蔵文化財センター	575	そばちよこの世界	江南市歴史民俗資料館
500	宮の前遺跡発掘調査報告	津市埋蔵文化財センター	576	瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要 X IX	瀬戸市歴史民俗資料館
501	皇學館大學神道博物館館報 第9号	皇學館大學神道博物館	577	カップ&ソーサーの世界	瀬戸市歴史民俗資料館
502	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報 V	鈴鹿市教育委員会	578	鳥間遺跡・腰元遺跡	知立市教育委員会
503	鈴鹿市埋蔵文化財調査年報 VI	鈴鹿市教育委員会	579	小針遺跡 III	知立市教育委員会
504	発掘された鈴鹿 '97 ~'98	鈴鹿市考古博物館	580	八幡古城跡	知立市教育委員会
505	年報 平成10年度	(財)愛知県埋蔵文化財センター	581	年報 平成9年度	知立市歴史民俗資料館
506	愛知県埋蔵文化財情報 14	(財)愛知県埋蔵文化財センター	582	羽角山古墳群	西尾市教育委員会
507	愛知県埋蔵文化財情報 14	(財)愛知県埋蔵文化財センター	583	松崎八反田遺跡・熊子山遺跡	西尾市教育委員会
508	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要第7輯	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター	584	豊明市史 資料編補三 近世一	豊明市教育委員会
509	平成10年度 瀬戸市埋蔵文化財センター年報	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター	585	吉田城址(Ⅲ)	豊橋市教育委員会
510	一宮の文化財めぐり	一宮市博物館	586	平成10年度 三ツ山古墳調査概要(I)	豊橋市教育委員会
511	平野のムラに暮らす。	一宮市博物館	587	橋良遺跡(Ⅱ)	豊橋市教育委員会
512	音聴への誘い	一宮市博物館	588	リトルワールド年報 第21号	野呂貝塚博物館トワールド
513	尾張の民具	一宮市博物館	589	瀬名川遺跡	財团法人濃尾文化財研究会
514	くらしの道具一今と昔一	一宮市博物館	590	押出シ遺跡	財团法人濃尾文化財研究会
515	半田市立博物館 年報 平成10年度	半田市立博物館	591	山の神遺跡	財团法人濃尾文化財研究会
516	研究紀要 20	半田市立博物館	592	箕輪遺跡	財团法人濃尾文化財研究会
517	名古屋大学古川総合研究資料館報告 第15号	名古屋大学年代測定	593	川合遺跡 八反田地区 I	財团法人濃尾文化財研究会
518	名古屋市博物館年報 22	資料研究センター	594	上土遺跡(立石地区) II(遺物編)	財团法人濃尾文化財研究会
519	名古屋市博物館研究紀要 第22巻	名古屋市博物館	595	上土遺跡(立石地区) I(遺構編)	財团法人濃尾文化財研究会
			596	池ヶ谷遺跡 III(遺物編)	財团法人濃尾文化財研究会

	書名	寄贈者		書名	寄贈者
597	池ヶ谷遺跡 遺構編 I	新潟県埋蔵文化財調査研究会	670	太田ニジカワダ遺跡	羽咋市教育委員会
598	北ノ入A 遺跡	新潟県埋蔵文化財調査研究会	671	吉崎・次場遺跡第16次発掘調査報告書	羽咋市教育委員会
599	静岡県埋蔵文化財調査研究所 年報 X V	新潟県埋蔵文化財調査研究会	672	新保ゼンボン古墳群	羽咋市教育委員会
600	方吹遺跡	新潟県埋蔵文化財調査研究会	673	平成10年度 金沢市埋蔵文化財調査年報	金沢市埋蔵文化財センター(財)岐阜県埋蔵文化財調査研究会
601	静岡の現象をさぐる 発掘調査報告会	新潟県埋蔵文化財調査研究会	674	桃山古陶の調査研究報告書	可児市教育委員会
602	出土品図録 1999	新潟県埋蔵文化財調査研究会	675	清水塚塚	各務原市埋蔵文化財調査センター
603	沢東B遺跡	富士市教育委員会	676	二野東段遺跡・横穴墓	各務原市埋蔵文化財調査センター
604	東海道と島田宿展	島田市博物館	677	前波猿尾堤第3調査区発掘調査報告書	各務原市埋蔵文化財調査センター
605	御陣屋遺跡	島田市教育委員会	678	蘇原中屋敷1号窯址発掘調査報告書	各務原市埋蔵文化財調査センター
606	宮上遺跡	島田市教育委員会	679	三ツ塚遺跡A 地区発掘調査報告書	各務原市埋蔵文化財調査センター
607	御小屋原I・中原遺跡	島田市教育委員会	680	須衛宮東1号窯址発掘調査報告書	各務原市埋蔵文化財調査センター
608	女高I 遺跡	掛川市教育委員会	681	蘇原東山遺跡群発掘調査報告書	各務原市埋蔵文化財調査センター
609	新田横穴群D群	掛川市教育委員会	682	須衛市立南1号窯址発掘調査報告書	土岐市埋蔵文化財調査センター
610	前坪古墳群	掛川市教育委員会	683	綾部 御深井 古染付 桃山が江戸のやきものへ	多治見市教育委員会
611	出土文化財展 1993	掛川市教育委員会	684	酒ヶ峯1.2号窯発掘調査報告書	多治見市教育委員会
612	静岡の原像をさぐる発掘調査報告会	掛川市教育委員会	685	多治見市文化財保護センター研究紀要 第5号	多治見市教育委員会
613	出土文化財展 1994	掛川市教育委員会	686	大垣市埋蔵文化財調査概要 平成8年度	大垣市教育委員会
614	1400年前の愈匠と技	掛川市教育委員会	687	曾根城跡第3次発掘調査	大垣市教育委員会
615	出土文化財展 1998	掛川市教育委員会	688	昼飯大塚古墳 IV	大垣市教育委員会
616	出土文化財展 1997	掛川市教育委員会	689	城之内遺跡(第1分冊)	岐阜市教育委員会
617	高田遺跡	掛川市教育委員会	690	平成9.10年度 岐阜市内遺跡発掘調査報告書	岐阜市教育委員会
618	出土文化財展 1995	掛川市教育委員会	691	城之内遺跡	岐阜県博物館
619	岡津原3遺跡	掛川市教育委員会	692	岐阜県博物館	岐阜県博物館
620	沼津市博物館紀要 23	沼津市歴史民俗資料館	693	岐阜県博物館調査研究報告 第20号	岐阜県博物館
621	焼津市歴史民俗資料館年報 13	焼津市歴史民俗資料館	694	木ノ下遺跡発掘調査報告書	美濃加茂市教育委員会
622	藤枝市文化財年報 平成9年度	藤枝市郷土博物館	695	発掘物語'99	和歌山市立博物館
623	坂尻遺跡	袋井教育委員会	696	御坊市歴史民俗資料館 館報10	御坊市歴史民俗資料館
624	石ノ形古墳	袋井教育委員会	697	御坊市歴史民俗資料館 館報9	御坊市歴史民俗資料館
625	はるおか遺跡群	袋井教育委員会	698	阿須賀神社の御正体	新宮市立歴史民俗資料館
626	大御所徳川家康の城と町	静岡市教育委員会	699	龜山市歴史博物館年報第5号	龜山市歴史博物館
627	ふちゅ~る 7	静岡市教育委員会	700	火を使う人々 一くらしの中の火を探るー	龜岡市文化資料館
628	駿府城跡 I (遺構編)	静岡市教育委員会	701	探究伊丹波龜山城	龜岡市文化資料館
629	竜爪山の歴史と民俗 一竜が降りた山の説解きのすすめー	静岡市立登呂博物館	702	原始・古代人のわざれもの	龜岡市文化資料館
630	登呂の弥生人 7	静岡市立登呂博物館	703	龜岡市文化資料館報 第6号	京都市考古資料館
631	静岡市立登呂博物館館報 9	静岡市立登呂博物館	704	統・洛中桃山陶器の世界 一三条界限出土一	京都府立丹後郷土資料館
632	埋蔵文化財年報 10	(財)富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所	705	丹後発掘	京都府立大学文学部
633	勅使塚古墳発掘調査レポート	(財)富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所	706	東山古墳群 I	八幡市教育委員会
634	埋蔵文化財調査概要 平成10年度	(財)富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所	707	八幡市埋蔵文化財発掘調査概報 第27集	八幡市教育委員会
635	富山考古学研究第2号	(財)富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所	708	八幡市埋蔵文化財発掘調査概報 第25集	八幡市教育委員会
636	下村加茂遺跡発掘調査報告	(財)富山県文化振興財團埋蔵文化財調査事務所	709	八幡市埋蔵文化財発掘調査概報 第26集	八幡市教育委員会
637	金屋南遺跡発掘調査報告 I	下村教育委員会	710	白山米古墳Ⅲ・須代遺跡Ⅳ	加悦町古墳公園はいわ遺跡館
638	富山市浜黒崎悪地遺跡発掘調査概要	富山市教育委員会	711	金屋遺跡	加悦町古墳公園はいわ遺跡館
639	富山市内遺跡発掘調査概要 III	富山市教育委員会	712	徹底検証Ⅱ 丹後の弥生社会を斬る	加悦町教育委員会
640	富山市友松遺跡・任海宮田遺跡試掘調査概要	富山市教育委員会	713	丹後の古代中世近世社会を探るⅢ	加悦町教育委員会
641	富山市安養寺遺跡発掘調査報告書 II	富山市教育委員会	714	観音寺山遺跡発掘調査報告書	同志社大学歴史資料館
642	柄谷南遺跡	富山市教育委員会	715	北小松遺跡	同志社大学歴史資料館
643	富山市HS-07遺跡	富山市教育委員会	716	同志社大学歴史資料館館報 第2号	同志社大学歴史資料館
644	富山市四方荒屋遺跡発掘調査概要	富山市教育委員会	717	許波多 一歴史と文化ー	宇治市歴史資料館
645	富山市千原崎遺跡発掘調査概要	富山市教育委員会	718	福知山市文化調査報告書 第38集	同志社大学歴史資料館
646	富山市四方背戸割遺跡発掘調査報告書	富山市教育委員会	719	福知山市文化調査報告書 第37集	同志社大学歴史資料館
647	富山市考古資料館紀要 第18号	富山市考古資料館	720	辰馬考古資料館 考古学研究紀要 2	(財)辰馬考古資料館
648	富山市考古資料館紀要 第19号	富山市考古資料館	721	古鏡の世界	(財)辰馬考古資料館
649	富山市考古資料館報 36	富山市考古資料館	722	貨幣 一かねづくりとかねづかいの歴史ー	(財)黒川古文化研究所
650	富山市考古資料館紀要 第16号	富山市考古資料館	723	三輪・宮ノ越遺跡	三田市教育委員会
651	富山市考古資料館報 35	富山市考古資料館	724	上井沢土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査の記録	三田市教育委員会
652	富山市埋蔵文化財センター年報	富山市考古資料館	725	三田焼の研究 一三輪明神窯跡出土土器①ー	三田市教育委員会
653	花ひらく縄文文化 一境A遺跡と山内丸山遺跡ー	富山県埋蔵文化財センター	726	さんだのいせき企画展 43~45	三田市教育委員会
654	富山県小矢部市 桜町遺跡	小矢部市教育委員会	727	尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成6年度	尼崎市教育委員会
655	全国縄文展 一祈りと暮らしー	小矢部市教育委員会	728	尼崎市内遺跡 復旧・復興事業に伴う発掘調査概要報告書	尼崎市教育委員会
656	桜町遺跡'99	小矢部市教育委員会	729	播磨大中遺跡	播磨町教育委員会
657	新湊市埋蔵文化財分布調査報告 II	新湊市教育委員会	730	播磨町郷土資料館 館報 10	播磨町郷土資料館
658	陸田家文書 その六	永見市立博物館	731	大中遺跡の時代	播磨町郷土資料館
659	戦国・水見 一国人たちの足跡ー	永見市立博物館	732	播磨町の文化財	播磨町郷土資料館
660	宝田桂山展 初期作品を中心として	永見市立博物館	733	印象派から20世紀への絵画名品展	明石市立文化博物館
661	水見市立博物館年報 第17号	永見市立博物館	734	ミレー・コロー・クールベとバルビゾン派の画家たち展	明石市立文化博物館
662	高岡市立博物館年報 第13号	高岡市立博物館	735	現代日本画名品展	明石市立文化博物館
663	魚津市立博物館紀要 第5号	魚津市教育委員会	736	発掘された明石の歴史展 一震災復興調査の成果からー	明石市立文化博物館
664	林タカヤマ密跡	小松市教育委員会	737	くらしのうつりかわり展 衣の今・昔	明石市立文化博物館
665	城下町金沢の人々	石川県立歴史博物館	738	村上晩人版画展 一心に残る名作を一堂にー	明石市立文化博物館
666	石川県立歴史博物館 紀要 12	石川県立歴史博物館	739	引野遺跡発掘調査概要	東浦教育委員会
667	紀尾井町事件 武士の近代と地域社会	石川県立歴史博物館	740	むかしのアクセサリー 一ちょっとおしゃれな神戸っ子ー	神戸市教育委員会
668	うさぎワンダーランド	石川県立歴史博物館	741	地下に眠る神戸の歴史展 XI	神戸市教育委員会
669	史跡吉崎・次場遺跡整備事業報告書	羽咋市教育委員会	742	北青木遺跡発掘調査報告書 第3次調査	神戸市教育委員会
			743	白水遺跡 第4次	神戸市教育委員会
			744	城門人と弥生人 ~その時代を生きた人々の表情~	神戸市教育委員会
			745	平成8年度 神戸市埋蔵文化財年報	神戸市教育委員会
			746	むかしのアクセサリー 一ちょっとおしゃれな神戸っ子ー	神戸市教育委員会

	書名	寄贈者		書名	寄贈者
747	夏休み子ども博物館ガイドブック	神戸市立博物館	824	埋蔵文化財ニュース 90	所埋蔵文化財センター
748	竹原遺跡	龍野市教育委員会	825	埋蔵文化財ニュース 89	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター
749	長尾・小畠遺跡群	龍野市教育委員会	826	上流の村・下流の村 一大和・河内の弥生時代	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター
750	平成10年度 (財)八尾市文化財調査研究会事業報告	街(八尾市文化財調査研究会)	827	桜井の弥生時代	新埋蔵文化財センター
751	(財)八尾市文化財調査研究会報告 63	街(八尾市文化財調査研究会)	828	1980~1982年度栗東町埋蔵文化財発掘調査資料集	新埋蔵文化財センター
752	八尾の文化財市指定文化財 その2	八尾市教育委員会	829	里内文庫コレクション	栗原歴史民俗博物館
753	八尾の文化財市指定文化財 その1	八尾市教育委員会	830	'99 平和のいしづえ展	栗原歴史民俗博物館
754	史跡心合寺山古墳 第6次発掘調査概報	八尾市教育委員会	831	「ひとがた・かたしろ・人形」	栗原歴史民俗博物館
755	八尾市内遺跡平成10年度発掘調査報告書 II	八尾市教育委員会	832	栗東歴史民俗博物館紀要 第5号	栗原歴史民俗博物館
756	八尾市内遺跡平成10年度発掘調査報告書 I	八尾市教育委員会	833	年報 平成10年度	栗原歴史民俗博物館
757	北摂古寺巡 一信仰の語り部たちとの出会い	吹田市立博物館	834	近江湖東・湖南の画人たち	栗原歴史民俗博物館
758	江戸時代の吹田 一古文書と絵図が語るもの	吹田市立博物館	835	栗東町埋蔵文化財発掘調査1997年度年報	栗原文化体育振興事業団
759	大王墓の時代 百舌鳥古墳群・よみがえる五世紀	堺市博物館	836	宮司遺跡 II・鶴田遺跡 VI	滋賀県教育委員会
760	大東の民具(米作り・連根作り民具)	大東市教育委員会	837	島丸崎遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会
761	御領遺跡	大東市教育委員会	838	慈恩寺遺跡ほか	滋賀県教育委員会
762	大谷女子大学博物館	大谷女子大学博物館	839	野田道遺跡	滋賀県教育委員会
763	紀伊・砂羅之谷	大谷女子大学資料館	840	八之塚古墳群	滋賀県教育委員会
764	収蔵品図録V 鏡鑑2	大谷女子大学資料館	841	浄土寺遺跡・野田代遺跡・風呂流遺跡	滋賀県教育委員会
765	雪野山古墳 III	大阪大学文学部	842	普光寺廃寺・夜中寺廃寺	滋賀県教育委員会
766	雪野山古墳 II	大阪大学文学部	843	宝遺跡 II・宮司遺跡 III	滋賀県教育委員会
767	雪野山古墳	大阪大学文学部	844	鶴ヶ池遺跡	滋賀県教育委員会
768	古墳時代首長系譜変動パターンの比較研究	大阪大学考古学研究室	845	寺林遺跡	滋賀県教育委員会
769	国家形成期の考古学 一大阪大学考古学研修室10周年記念論集	大阪大学考古学研究室	846	金屋遺跡	滋賀県教育委員会
770	仙界伝説 一卑弥呼の求めた世界	大阪府立弥生文化博物館	847	上日吉古墳群・浅前遺跡ほか	滋賀県教育委員会
771	波来人登場 一弥生文化を開いた人々	大阪府立弥生文化博物館	848	上寺地遺跡・北郷里小遺跡	滋賀県教育委員会
772	発掘速報展 大阪2000	大阪府立近つ飛鳥博物館	849	栗津湖底遺跡	滋賀県教育委員会
773	大阪府立近つ飛鳥博物館 館報 4	大阪府立近つ飛鳥博物館	850	三堂遺跡	滋賀県教育委員会
774	百舌鳥・古市	太子町立竹内街道歴史資料館	851	柴原南遺跡	滋賀県教育委員会
775	太子町立竹内街道歴史資料館 館報 第5号	太子町立竹内街道歴史資料館	852	石馬寺遺跡	滋賀県教育委員会
776	記紀の道 一王陵の谷と古道	富田林市教育委員会	853	湯ノ部遺跡 IV・西河原宮の内遺跡 I	滋賀県教育委員会
777	平成10年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書	富田林市教育委員会	854	後川遺跡 II	滋賀県教育委員会
778	長保寺遺跡	寝屋川市教育委員会	855	近江国府跡 I	滋賀県教育委員会
779	石室殿古墳	寝屋川市教育委員会	856	長野遺跡	滋賀県教育委員会
780	中神田遺跡 II	寝屋川市教育委員会	857	十禅師遺跡	滋賀県教育委員会
781	池田西遺跡	寝屋川市教育委員会	858	木曾遺跡 III	滋賀県教育委員会
782	石室殿古墳の謎に迫る ～なぜ古墳がつくられなくなったのか～	寝屋川市教育委員会	859	真福寺遺跡	滋賀県教育委員会
783	高宮八丁遺跡 木器編	寝屋川市教育委員会	860	老蘇遺跡	滋賀県教育委員会
784	高柳遺跡	寝屋川市教育委員会	861	禊遺跡・大將軍遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会
785	高宮八丁遺跡 II	寝屋川市教育委員会	862	北代遺跡・上代遺跡	滋賀県教育委員会
786	津田北遺跡	岸和田市教育委員会	863	堀南遺跡神ノ木遺跡	滋賀県教育委員会
787	平成10年度 発掘調査概要	岸和田市教育委員会	864	川合寺遺跡	滋賀県教育委員会
788	久米田貝吹山古墳 第1~4次調査概報	岸和田市教育委員会	865	越前塚遺跡・大塚遺跡	滋賀県教育委員会
789	田次米宮内遺跡	岸和田市教育委員会	866	稻里遺跡	滋賀県教育委員会
790	柏原市遺跡群発掘調査概報1998年度	柏原市教育委員会	867	芦浦遺跡	滋賀県教育委員会
791	北峯古墳群・田辺遺跡	柏原市教育委員会	868	堀部遺跡・堀部西・丸岡探査跡・南足追跡・北堀里小追跡・岩町探査跡	滋賀県教育委員会
792	本郷遺跡	柏原市教育委員会	869	尼子南遺跡 I	滋賀県教育委員会
793	大県南遺跡	柏原市教育委員会	870	建部北町古墳群・浄土寺遺跡	滋賀県教育委員会
794	柏原市埋蔵文化財発掘調査概報 1998年度	柏原市教育委員会	871	野田代遺跡・森西城遺跡・野田道遺跡	滋賀県教育委員会
795	古代たら(製鉄)とカヌチ(鍛冶)風人と土の神々	柏原市教育委員会	872	御所内遺跡・上出B 遺跡	滋賀県教育委員会
796	河内國分寺	柏原市教育委員会	873	後川遺跡	滋賀県教育委員会
797	田辺遺跡	柏原市教育委員会	874	大塚古墳群ほか遺跡	滋賀県教育委員会
798	大和川・北から西へ	柏原市立歴史資料館	875	上出A 遺跡	滋賀県教育委員会
799	よみがえる古代 一柏原市の発掘調査1993~1997-	柏原市立歴史資料館	876	川ノ口遺跡	滋賀県教育委員会
800	柏原市立歴史資料館館報 第10号	柏原市立歴史資料館	877	中兵庫遺跡	滋賀県教育委員会
801	かしわらの相撲碑 柏原市の石造物1	柏原市立歴史資料館	878	殿屋敷城遺跡・莊嚴寺遺跡	滋賀県教育委員会
802	近江の歴史家群像	栗東市歴史民俗博物館	879	小川原遺跡 3	滋賀県教育委員会
803	'98平和のいしづえ展	栗東市歴史民俗博物館	880	竹ノ鼻遺跡	滋賀県教育委員会
804	婚礼のすがたとここと儀式の伝統一	栗東市歴史民俗博物館	881	後川遺跡・高木遺跡・八甲遺跡	滋賀県教育委員会
805	泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報 17	泉大津市教育委員会	882	木瓜原遺跡	滋賀県教育委員会
806	豊中市埋蔵文化財年報 5	豊中市教育委員会	883	宮前遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会
807	豊中市埋蔵文化財年報 6	豊中市教育委員会	884	芝原遺跡	滋賀県教育委員会
808	淀の国 てしま 一ながめてみよう奈良・平安のとよなかー	豊中市教育委員会	885	上出A 遺跡	滋賀県教育委員会
809	古川遺跡	門真市教育委員会	886	木曾遺跡 II	滋賀県教育委員会
810	関西大学博物館紀要 第5号	門真市教育委員会	887	後川遺跡 I	滋賀県教育委員会
811	山村の豪農 一園田家の世界	関西大学博物館	888	金剛寺遺跡・金剛寺城遺跡	滋賀県教育委員会
812	高槻市文化財年報 平成9年度	高槻市教育委員会	889	杉江遺跡・大宮遺跡 III	滋賀県教育委員会
813	枚方市文化財年報 20	枚方市文化財研究調査会	890	普光寺廃寺遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会
814	研究紀要 第10号	八尾市立歴史民俗資料館	891	北落遺跡	滋賀県教育委員会
815	国立民俗学博物館要覧 1999	国立民俗学博物館	892	上出A 遺跡	滋賀県教育委員会
816	布留遺跡守目室(ツルヒ)地区・守目室(櫛子山)地区発掘調査報告書 修羅! 一その大いなる遺産古墳・飛鳥を運ぶ	天理大学付属天理参考館	893	御所内遺跡・上出A 遺跡	滋賀県教育委員会
817	天理参考館報 第12号	天理大学付属天理参考館	894	大戌亥遺跡 I・鶴田遺跡 III-2	滋賀県教育委員会
818	桧野照武氏旧蔵資料目録 3	天理市教育委員会	895	人間文化 第5.6号	滋賀県立大学人間文化学部
819	天理市埋蔵文化財調査概報 平成6.7年度	天理市教育委員会	896	人間文化 第7号	滋賀県立大学人間文化学部
820	石上・豊田古墳群孤ヶ尾8号・9号墳	奈良国立文化財研究所	897	安土城・1999	滋賀県立安土城考古博物館
821	奈良国立文化財研究所年報 1998-III	奈良国立文化財研究所			
822	埋蔵文化財ニュース 91				

	書名	寄贈者		書名	寄贈者
898	あっここの遺跡知ってる! 一親子で楽しむ考古学—平成10年度 年報	滋賀県立安土城考古博物館 滋賀県立安土城考古博物館 滋賀県立安土城考古博物館	974	才町茶臼山遺跡	福山市教育委員会
899	紀要 第7号		975	為弘古墳群	下松市教育委員会
900	寧處に遼あらず 一古墳時代の戦乱—	滋賀県立安土城考古博物館	976	下関の人物(増補改訂版)	下関図書館
901	さざなみの志賀 穴太遺跡から穴太庵寺へ	滋賀県立安土城考古博物館	977	下関市史 資料編 V	下関市史稿集委員会
902	琵琶湖博物館研究調査報告 14号	滋賀県立琵琶湖博物館	978	下関市史 資料編 V	下関市史稿集委員会
903	琵琶湖博物館研究調査報告 13号	滋賀県立琵琶湖博物館	979	下関市史 民俗編	下関市史稿集委員会
904	琵琶湖博物館研究調査報告 12号	滋賀県立琵琶湖博物館	980	下関市史 資料編 IV	下関市史稿集委員会
905	琵琶湖博物館研究調査報告 7号	滋賀県立琵琶湖博物館	981	下関市史 市制施行一終戦	下関市史稿集委員会
906	琵琶湖博物館研究調査報告 6号	滋賀県立琵琶湖博物館	982	下関市史 資料編 III	下関市史稿集委員会
907	琵琶湖博物館業績目録 2号	滋賀県立琵琶湖博物館	983	下関市史 終戦—現在	下関市史稿集委員会
908	琵琶湖博物館年報 3号	滋賀県立琵琶湖博物館	984	下関市史 資料編 I	下関市史稿集委員会
909	琵琶湖博物館年報 6号	滋賀県立琵琶湖博物館	985	下関市史 資料編 II	下関市史稿集委員会
910	琵琶湖博物館資料目録 2号	滋賀県立琵琶湖博物館	986	田中遺跡	下関市教育委員会
911	長福寺遺跡(2次)・石田遺跡(2次)・法堂寺遺跡	能登弓削埋蔵文化財センター 能登弓削埋蔵文化財センター 能登弓削埋蔵文化財センター	987	田中遺跡	下関市教育委員会
912	斗西遺跡(13次)・鍛冶屋遺跡(3次)	草津市教育委員会	988	毛利氏と下関一元就・元清・秀元と長府藩の成立—	下関市立長府博物館
913	法堂寺廃寺跡	草津市教育委員会	989	山口市内遺跡詳細分布調査 大歳地区	山口市教育委員会
914	草津川改修開削遺跡発掘調査概要報告書 X III	草津市教育委員会	990	寺内遺跡 II・七尾山古墳	山口県埋蔵文化財センター
915	平成9年度 草津市文化財年報	草津市教育委員会	991	東禪寺・黒山遺跡 IV	山口県埋蔵文化財センター
916	平成8年度 草津市文化財年報	草津市教育委員会	992	大浦古墳群・梅ヶ崎古墳群	山口県埋蔵文化財センター
917	石田三成 秀吉を支えた知の参謀	長浜城歴史博物館	993	上関城跡	山口県埋蔵文化財センター
918	近江の太鼓踊り竜神信仰と雨乞い踊り	長浜城歴史博物館	994	吉永遺跡(III—東地区)	山口県埋蔵文化財センター
919	野瀬遺跡	長浜市教育委員会	995	切畠南遺跡	山口県埋蔵文化財センター
920	川崎南遺跡	長浜市教育委員会	996	萬野遺跡(北地区)	山口県教育委員会
921	高松市歴史資料館年報 6	高松市歴史資料館	997	山口市内遺跡詳細分布調査 陶地区	山口県教育委員会
922	野球王国・高松が生んだ宿命のライバル	高松市歴史資料館	998	山口県史研究 第7号	山口県史編さん室
923	阿波の華 徳島城	徳島市立徳島城博物館	999	山口県史 資料編 近世1	山口県史編さん室
924	徳島市立徳島城博物館年報 第7号	徳島市立徳島城博物館	1000	山口県立山口博物館研究報告 第25号	山口県立山口博物館
925	伊能忠敬が描いた日本	徳島県立博物館	1001	よみがえる漢王朝—2000年の時をこえて—	山口県立美術館・浦上総館
926	掘り出された徳島の歴史	徳島県立博物館	1002	写真で見る豊高史	山口県立豊浦高等学校
927	よみがえる江戸時代絶巻大名行列	徳島県立博物館	1003	我が青春のとよら	山口県立豊浦高等学校
928	徳島県立博物館年報 第8号	徳島県立博物館	1004	むえんだん	美祢市教育委員会
929	徳島県立博物館研究報告 第9号	徳島県立博物館	1005	美祢市歴史民俗資料館調査研究報告 第15号	美祢市歴史民俗資料館
930	里改田遺跡	徳島県立博物館	1006	上藤中横穴墓群	長門市教育委員会
931	浅村遺跡	徳島県立博物館	1007	常德寺庭園	阿東町教育委員会
932	福井遺跡	徳島県立博物館	1008	小山遺跡発掘調査報告書	出雲市教育委員会
933	小籠北遺跡	徳島県立博物館	1009	古志本郷遺跡発掘調査報告書	出雲市教育委員会
934	天崎遺跡	徳島県立博物館	1010	天神遺跡第9次発掘調査報告書	出雲市教育委員会
935	奥谷南遺跡 I	徳島県立博物館	1011	藤ヶ森南遺跡	出雲市教育委員会
936	西本城跡	徳島県立博物館	1012	高浜II遺跡	出雲市教育委員会
937	八田奈呂遺跡 I	徳島県立博物館	1013	西谷15.16号墓発掘調査報告書	出雲市埋蔵文化財発掘調査報告書 第9集
938	里改田遺跡	徳島県立博物館	1014	「海」—一海流に乗った古代の恋物語—	「海」—一海流に乗った古代の恋物語—
939	辺路石南遺跡・五反地遺跡	徳島県立博物館	1015	古代の技術を考える 一大量生産への工夫と技術—	古代の技術を考える 一大量生産への工夫と技術—
940	高知県埋蔵文化財センター年報 第8号	徳島県立博物館	1016	「海」—一海流に乗った古代の恋物語—	「海」—一海流に乗った古代の恋物語—
941	人麻呂城跡	徳島県立博物館	1017	荒神谷遺跡	斐川町教育委員会
942	門井 I 遺跡・井門 II 遺跡	徳島県立博物館	1018	三ノ田遺跡	斐川町教育委員会
943	愛比売平成7~10年度年報	徳島県立博物館	1019	上ヶ谷遺跡発掘調査報告書	斐川町教育委員会
944	船ヶ谷遺跡 -3次調査地-	徳島県立博物館	1020	国宝荒神谷ガイドブック	斐川町教育委員会
945	船ヶ谷遺跡 -2次調査-	徳島県立博物館	1021	本庄地区県営整備事業に伴う松江北東部遺跡発掘調査報告書	松江市教育委員会
946	上井遺跡	徳島県立博物館	1022	南講武小廻第2次遺跡発掘調査報告書	鹿島市教育委員会
947	潮戸風峠遺跡	徳島県立博物館	1023	開拓者の眠るところ	鹿島町立歴史民俗資料館
948	馬島亀ヶ浦遺跡馬島ハゼケ浦遺跡	徳島県立博物館	1024	船倉貝塚	倉敷埋蔵文化財センター
949	旭方 I 遺跡・旭方 I 号箱式石棺・柳内遺跡・宮ノ谷遺跡・大川遺跡・正法寺遺跡	徳島県立博物館	1025	岡山大学構内遺跡調査研究年報 5	岡山大学埋蔵文化財センター
950	鹿の子古墳群・新谷森ノ前遺跡	徳島県立博物館	1026	岡山大学構内遺跡調査研究年報	岡山大学構内遺跡調査研究年報
951	松山市埋蔵文化財調査年報 11	徳島県立博物館	1027	岡山大学構内遺跡調査研究年報	岡山大学構内遺跡調査研究年報
952	岩木赤坂遺跡	徳島県立博物館	1028	岡山大学構内遺跡調査研究年報 16	岡山市教育委員会
953	理正院文書・日野家文書目録	徳島県立博物館	1029	宗形神社古墳	岡山市教育委員会
954	菊山隆氏所蔵資料	徳島県立博物館	1030	岡山市埋蔵文化財調査の概報 1997	岡山市教育委員会
955	佐多岬半島の仕事着(裂縫り)	徳島県立博物館	1031	長坂古墳群	岡山市教育委員会
956	研究紀要 第4号	徳島県立博物館	1032	岡山市立オリエント美術館研究紀要 16	岡山市立オリエント美術館
957	海道をゆく	徳島県立博物館	1033	平尾尾墓群	岡山理科大学総合情報学部
958	年報平成10年度	徳島県立博物館	1034	岡山県古代吉備文化財センター	岡山県古代吉備文化財センター
959	赤穂浪士と伊予	徳島県立博物館	1035	津島遺跡を探る —発掘調査からわかること—	岡山県古代吉備文化財センター
960	陶不押次郎の足跡	徳島県立博物館	1036	矢作川 川と人の歴史	岡崎市美術博物館
961	小野川流域の遺跡 II	徳島県立博物館	1037	元禄繚乱	岡崎市美術博物館
962	乃石の裏遺跡2次調査	徳島県立博物館	1038	ルーベンスとバロック絵画の巨匠たち	岡崎市美術博物館
963	松山大学構内遺跡 III第4.5次調査	徳島県立博物館	1039	津山城 資料編	津山市教育委員会
964	綱乱の時 一西部瀬戸内に咲いた、弥生の花—魂のゆくえ 検証 古代瀬戸内の精神文化	徳島県立博物館	1040	有元遺跡・男鴨遺跡	津山市民の里文化財センター
965	館報 入船山 第11号	徳島県立博物館	1041	荒神略遺跡	津山市民の里文化財センター
966	たら研究第39号	徳島県立博物館	1042	年報 津山弥生の里 第6号	津山市民の里文化財センター
967	たら研究第38号	徳島県立博物館	1043	御尊堂遺跡	笠岡市教育委員会
968	しまなみ街道をめぐる文化財展	徳島県立博物館	1044	奥坂遺跡群	総社市教育委員会
969	10年のあゆみ	徳島県立歴史民俗資料館	1045	元禄の備中松山展	高梁市歴史美術館
970	広島県立みよし風土記の丘 歴史民俗資料館	徳島県立歴史民俗資料館	1046	御座古墳群	高梁市歴史美術館
971	府中市内遺跡 4	府中市教育委員会	1047	重留遺跡群 第2地点	高梁市歴史美術館
972			1048	光照寺遺跡 1	高梁市歴史美術館
973			1049	光照寺遺跡 2	高梁市歴史美術館
			1050	金山遺跡 I・V区	高梁市歴史美術館

	書名	寄贈者		書名	寄贈者
1051	長野角屋敷遺跡	小郡市埋蔵文化財センター	1128	大崎中ノ前遺跡 2	小郡市埋蔵文化財センター
1052	御座遺跡群	小郡市埋蔵文化財センター	1129	小板井屋敷跡	小郡市埋蔵文化財センター
1053	片伊田遺跡 5	小郡市埋蔵文化財センター	1130	小板井ぐうてさん遺跡	小郡市埋蔵文化財センター
1054	金山遺跡Ⅲ区	小郡市埋蔵文化財センター	1131	大板井遺跡 X III	小郡市埋蔵文化財センター
1055	中貫遺跡	小郡市埋蔵文化財センター	1132	埋蔵文化財調査報告書3	小郡市埋蔵文化財センター
1056	小倉城御蔵跡	小郡市埋蔵文化財センター	1133	大保龍頭遺跡 1	小郡市埋蔵文化財センター
1057	埋蔵文化財調査年報 15	小郡市埋蔵文化財センター	1134	大板井遺跡 X II	小郡市埋蔵文化財センター
1058	常盤橋西勢溜り跡	小郡市埋蔵文化財センター	1135	福岡県小都市市内遺跡分布地図	小郡市埋蔵文化財センター
1059	片伊田遺跡 4	小郡市埋蔵文化財センター	1136	大保龍頭遺跡 2	小郡市埋蔵文化財センター
1060	峠遺跡 2	小郡市埋蔵文化財センター	1137	寺福童七斗前遺跡	小郡市埋蔵文化財センター
1061	研究紀要 第13号	小郡市埋蔵文化財センター	1138	小郡官衙周辺遺跡 1	小郡市埋蔵文化財センター
1062	園田浦城跡	小郡市埋蔵文化財センター	1139	干潟向畦ヶ浦遺跡	小郡市埋蔵文化財センター
1063	永犬丸遺跡群 3	小郡市埋蔵文化財センター	1140	大板井遺跡 X V	小郡市埋蔵文化財センター
1064	民俗料理はいかが?	ふるさとの館ちくしの	1141	久米遺跡	志摩町教育委員会
1065	ふるさとの館ちくしの	ふるさとの館ちくしの	1142	製鐵遺跡 一8世紀の官営工場一	志摩町歴史資料館
1066	古代官道と岡田の関	ふるさとの館ちくしの	1143	三代須川3号墳	新宮町教育委員会
1067	武藏寺と二日市温泉	ふるさとの館ちくしの	1144	新宮町文化財分布地図	新宮町教育委員会
1068	一の左右遺跡・荒木今宮脇遺跡	久留米市教育委員会	1145	香ノ木古墳群	新宮町教育委員会
1069	上津・藤光遺跡群 II	久留米市教育委員会	1146	相島積石塚群	新宮町教育委員会
1070	筑後国府跡・国分寺跡	久留米市教育委員会	1147	瀬戸遺跡	新宮町教育委員会
1071	筑後国府跡 第155次調査発掘調査概要	久留米市教育委員会	1148	相島積石塚群	新宮町教育委員会
1072	筑後国府跡 第152次調査	久留米市教育委員会	1149	瀬戸遺跡	新宮町教育委員会
1073	二木本遺跡 第14.15次調査	久留米市教育委員会	1150	三代須川3号墳	新宮町教育委員会
1074	野中前遺跡 第2次調査	久留米市教育委員会	1151	香ノ木古墳群	新宮町教育委員会
1075	山村南本村遺跡 第1~4次調査	久留米市教育委員会	1152	新徳古墳	新宮町教育委員会
1076	筑後国府跡 第159次調査	久留米市教育委員会	1153	新徳古墳	新宮町教育委員会
1077	ヘボノ木遺跡 第66次調査	久留米市教育委員会	1154	須玖唐梨遺跡	春日市歴史資料館
1078	白口経塚遺跡 第4.5.6次調査	久留米市教育委員会	1155	春日地区遺跡群 II	春日市歴史資料館
1079	平成10年度 久留米市内遺跡群	久留米市教育委員会	1156	春日地区遺跡群 III	春日市歴史資料館
1080	上津・藤光遺跡群	久留米市教育委員会	1157	春日地区遺跡群 IV	春日市歴史資料館
1081	太宰府史跡	九州歴史資料館	1158	春日地区遺跡群 VI	春日市歴史資料館
1082	九州歴史資料館研究論集 24	九州歴史資料館	1159	春日市埋蔵文化財年報 1	春日市歴史資料館
1083	九州歴史資料館年報 平成10年度	九州歴史資料館	1160	春日市埋蔵文化財年報 2	春日市歴史資料館
1084	怡土城とその時代	伊都歴史資料館	1161	春日市埋蔵文化財年報 4	春日市歴史資料館
1085	怡土城とその時代	伊都歴史資料館	1162	大谷遺跡	春日市歴史資料館
1086	惣津町遺跡	八女市教育委員会	1163	日添塚古墳	春日市歴史資料館
1087	万上田遺跡(2次・3次調査)	八女市教育委員会	1164	須玖五反田遺跡	春日市歴史資料館
1088	八女東部地区埋蔵文化財発掘調査概報5	八女市教育委員会	1165	西平塚遺跡・ナライ遺跡	春日市歴史資料館
1089	埋蔵文化財調査概法 I	八女市教育委員会	1166	須玖五反田遺跡 2	春日市歴史資料館
1090	伊都国を歩こう	前原市教育委員会	1167	須玖岡本遺跡	春日市歴史資料館
1091	最近話題の遺跡と遺物	北九州市教育委員会	1168	高辻遺跡	春日市歴史資料館
1092	伊都国と卑弥呼の時代	北九州市教育委員会	1169	春日市埋蔵文化財年報 5	春日市歴史資料館
1093	田原遺跡	北九州市教育委員会	1170	浦ノ原塚跡群	春日市歴史資料館
1094	牧山古墳群	北九州市教育委員会	1171	春日市埋蔵文化財年報 3	春日市歴史資料館
1095	釜蓋遺跡第2地点	北九州市教育委員会	1172	御輪地遺跡・えびいり遺跡箱式石棺	水巻町教育委員会
1096	京町遺跡(第2地点)	北九州市教育委員会	1173	王塚装飾古墳館年報 3	王塚装飾古墳館
1097	木屋瀬宿西構口	北九州市教育委員会	1174	王塚装飾古墳館年報 4	王塚装飾古墳館
1098	小倉城跡 V	北九州市教育委員会	1175	屋永西原遺跡 II	甘木市教育委員会
1099	横代中津町遺跡・カキ遺跡	北九州市教育委員会	1176	甘木ミノケ遺跡	甘木市教育委員会
1100	研究紀要 6	北九州市立考古博物館	1177	頓田高見遺跡 I	甘木市教育委員会
1101	北九州市立考古博物館年報平成10年度	北九州市立考古博物館	1178	堤蓮町遺跡	甘木市教育委員会
1102	発掘された弥生時代の木の文化	北九州市立考古博物館	1179	下渕名子古墳群	甘木市教育委員会
1103	ミュージアム九州 第64号	北九州市立考古博物館等建設推進九州会議	1180	下浦宮原遺跡 II	甘木市教育委員会
1104	ミュージアム九州 第63号	北九州市立考古博物館等建設推進九州会議	1181	頓田高見遺跡 II	甘木市教育委員会
1105	ミュージアム九州 第62号	北九州市立考古博物館等建設推進九州会議	1182	頓田高見遺跡 III・栗山遺跡 IV	甘木市教育委員会
1106	行司田遺跡	夜須町教育委員会	1183	甘木歴史資料館第1集	甘木歴史資料館
1107	大木遺跡	夜須町教育委員会	1184	京塙横穴墓群・古墳群	田川市教育委員会
1108	宮ノ上遺跡	夜須町教育委員会	1185	京塙横穴墓群・古墳群	田川市教育委員会
1109	塔ノ本遺跡	夜須町教育委員会	1186	平成7年度収集 修蔵品目録	福岡市博物館
1110	夜須町史 抜粋	夜須町教育委員会	1187	福岡市博物館研究紀要 第8号	福岡市博物館
1111	鬼神山遺跡	夜須町教育委員会	1188	福岡市博物館年報 5	福岡市博物館
1112	前田遺跡	大川市教育委員会	1189	福岡市埋蔵文化財センター年報 第17号	福岡市埋蔵文化財センター
1113	西水町遺跡	大川市教育委員会	1190	箱崎 8	福岡市教育委員会
1114	北大境遺跡	大川市教育委員会	1191	博多 66	福岡市教育委員会
1115	龍王遺跡	大川市教育委員会	1192	博多 67	福岡市教育委員会
1116	森園遺跡 II	大野城市教育委員会	1193	比恵 27	福岡市教育委員会
1117	中・寺尾遺跡	大野城市教育委員会	1194	大井遺跡	福岡市教育委員会
1118	大野城市的文化財 第31集	大野城市的文化財 第31集	1195	那珂 22	福岡市教育委員会
1119	石勺遺跡 IV	大野城市的文化財 第31集	1196	野多目A遺跡 5	福岡市教育委員会
1120	大板井遺跡 XIV	小郡市埋蔵文化財センター	1197	飯氏古墳群B群第14号墳調査報告書(2)	福岡市教育委員会
1121	勝負坂遺跡M地点	小郡市埋蔵文化財センター	1198	入部 IX	福岡市教育委員会
1122	三沢椎道2遺跡	小郡市埋蔵文化財センター	1199	拾六町龜田1・次郎丸高石4・田村13	福岡市教育委員会
1123	大保横枕遺跡	小郡市埋蔵文化財センター	1200	藤崎遺跡 14	福岡市教育委員会
1124	大崎小園遺跡	小郡市埋蔵文化財センター	1201	南八幡遺跡群 第8次調査	福岡市教育委員会
1125	力武前畑遺跡	小郡市埋蔵文化財センター	1202	板付周辺遺跡調査報告書 第20集	福岡市教育委員会
1126	寺福童内畑下道東遺跡	小郡市埋蔵文化財センター	1203	那珂 23	福岡市教育委員会
1127	井上廃寺 1	小郡市埋蔵文化財センター	1204	弥永原遺跡 4	福岡市教育委員会

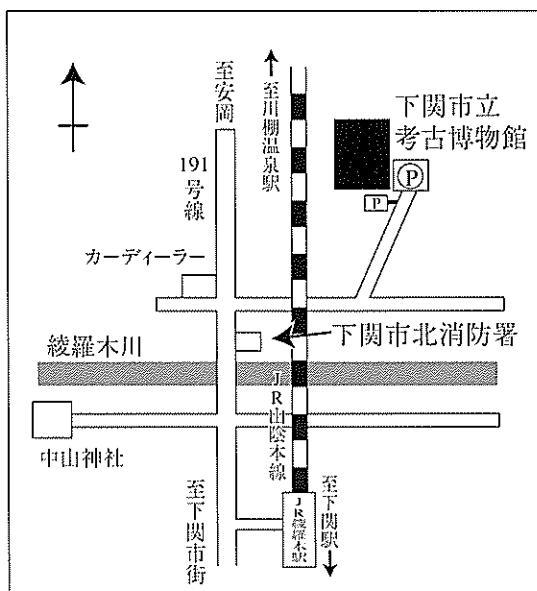
	書名	寄贈者		書名	寄贈者
1205	福岡市埋蔵文化財年報12	福岡市教育委員会	1285	六郷山寺院遺構確認調査報告書 VII	大分県立歴史博物館
1206	堅粕3	福岡市教育委員会	1286	豊後高田地区遺跡群発掘調査概報 VIII	豊後高田市教育委員会
1207	下和白後口古墳群	福岡市教育委員会	1287	豊後高田地区遺跡群発掘調査報告 X V	豊後高田市教育委員会
1208	那珂君休遺跡 VII	福岡市教育委員会	1288	豊後高田地区遺跡群発掘調査報告 X IV	豊後高田市教育委員会
1209	室見が丘	福岡市教育委員会	1289	豊後高田地区遺跡群発掘調査報告 X II	豊後高田市教育委員会
1210	田村14	福岡市教育委員会	1290	寺田卯月遺跡	豊後高田市教育委員会
1211	井相田D 遺跡第2次調査	福岡市教育委員会	1291	割掛遺跡	豊後高田市教育委員会
1212	福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告6	福岡市教育委員会	1292	豊後高田地区遺跡群発掘調査報告 X III	豊後高田市教育委員会
1213	有田・小田部32	福岡市教育委員会	1293	豊後高田地区遺跡群発掘調査報告 X I	豊後高田市教育委員会
1214	藤崎13	福岡市教育委員会	1294	豊後高田地区遺跡群発掘調査報告 X	豊後高田市教育委員会
1215	博多68	福岡市教育委員会	1295	豊後高田地区遺跡群発掘調査報告 IX	豊後高田市教育委員会
1216	比恵遺跡群28	福岡市教育委員会	1296	大原鬼塚古墳	豊後高田市教育委員会
1217	箱崎7	福岡市教育委員会	1297	寺田今藤遺跡	豊後高田市教育委員会
1218	鴻臚館跡10	福岡市教育委員会	1298	本渡北小学校ホール遺跡調査報告書	本渡市教育委員会
1219	大坪遺跡・大坪南遺跡	福岡市教育委員会	1299	熊本大学埋蔵文化財調査室年報 1998年度	熊本大学理観文化財調査室 熊本大学文学部考古学研究室
1220	峯遺跡2	福岡市教育委員会	1300	考古学研究室報告 第34集	熊本市教育委員会
1221	広石南古墳群A群	福岡市教育委員会	1301	熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書 平成10年度	熊本市教育委員会
1222	橋本一丁目遺跡・女原遺跡	福岡市教育委員会	1302	池辺寺跡 II	熊本市教育委員会
1223	吉武遺跡群 X I	福岡市教育委員会	1303	熊本市埋蔵文化財年報 第2号	熊本市教育委員会
1224	蒲田部木原遺跡群 6	福岡市教育委員会	1304	熊本博物館館報 11	熊本県立熊本博物館
1225	上穂波地区遺跡群 3	筑穂町教育委員会	1305	要覧第8号	熊本県立装飾古墳館
1226	黒丸丸尾城跡	若宮町教育委員会	1306	古代ならら製鉄一復元の記録一	熊本県立装飾古墳館
1227	鬼熊遺跡	行橋市教育委員会	1307	中国・四国地方の装飾古墳	熊本県立装飾古墳館
1228	史跡御所ヶ谷神龍石	行橋市教育委員会	1308	玉名にのこる近世絵画	玉名市立歴史博物館こどりア 玉名市立歴史博物館こどりピア
1229	今市向野遺跡A・B地点	豊前市教育委員会	1309	木下家文目録	玉名市立歴史博物館こどりア 玉名市立歴史博物館こどりピア
1230	今市向野遺跡C地点	豊前市教育委員会	1310	朱印船貿易と肥後	菊水町教育委員会
1231	青畑向原遺跡・永久遺跡	豊前市教育委員会	1311	博物館年報 3	みやざき歴史文化館
1232	江頭遺跡 -1~8区の調査-	佐賀市教育委員会	1312	松坂古墳	宮崎市教育委員会
1233	上和泉遺跡 11区・13区	佐賀市教育委員会	1313	みやざき歴史文化館年報 平成9年度	宮崎市教育委員会
1234	坪の上遺跡 II	佐賀市教育委員会	1314	下郷遺跡	宮崎市教育委員会
1235	徳永遺跡 9区	佐賀市教育委員会	1315	熊野第2遺跡	宮崎市教育委員会
1236	上和泉遺跡 6区	佐賀市教育委員会	1316	松添貝塚 II	宮崎市教育委員会
1237	東洲遺跡 1区	佐賀市教育委員会	1317	北中遺跡	宮崎市教育委員会
1238	江頭遺跡 -9区の調査- 森田遺跡-1区の調査-	佐賀市教育委員会	1318	東宮遺跡	宮崎市教育委員会
1239	ウ一屋敷遺跡	佐賀市教育委員会	1319	石ノ迫第2遺跡	宮崎市教育委員会
1240	牟田寄遺跡 VII -10~14区の調査-	佐賀市教育委員会	1320	宮崎県総合博物館年報 28	宮崎県総合博物館
1241	長瀬一本杉遺跡・高木城跡	佐賀市教育委員会	1321	宮崎県総合博物館研究紀要第2輯	宮崎県総合博物館
1242	佐賀県立博物館収蔵品目録 民俗	佐賀県立博物館	1322	平成10年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市教育委員会
1243	年報29	佐賀県立博物館	1323	平成9年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市教育委員会
1244	佐賀県立博物館収蔵品目録 考古	佐賀県立博物館	1324	大園遺跡	日南市教育委員会
1245	佐賀県立博物館収蔵品目録 動物資料・地質資料・模型類	佐賀県立博物館	1325	堂之元遺跡・川辺ケ野遺跡・上鶴遺跡・木落遺跡	日南市教育委員会
1246	佐賀県立博物館収蔵品目録 歴史・美術 I	佐賀県立博物館	1326	本野遺跡(縄文時代遺物編)	日南市教育委員会
1247	調査研究書第23集	佐賀県立博物館	1327	前ノ原第2遺跡・スクノ山第2遺跡E地区	田野町教育委員会
1248	倭國と加耶 古代の海をこえて	佐賀県立博物館	1328	畠田遺跡	田野町教育委員会
1249	平林遺跡 1区	北茂安町教育委員会	1329	スクノ山第2遺跡(D地区)	西都原古墳研究所・年報 第15号
1250	唐津市内遺跡確認調査(15)	唐津市教育委員会	1330	西都原古墳研究所・年報 第15号	西都原市教育委員会
1251	竹木場丹ノ木遺跡	唐津市教育委員会	1331	市内遺跡発掘調査概要報告書 IV	西都原市教育委員会
1252	菅牟田西山遺跡(2)	唐津市教育委員会	1332	都城市中央東部地区史跡・旧街路等調査報告書	都城市教育委員会
1253	菜畑内田遺跡(2)	唐津市教育委員会	1333	大浦遺跡	都城市教育委員会
1254	本源寺窯跡調査根町内古陶磁窯跡発掘調査 3	塙田市教育委員会	1334	田谷・尻枝遺跡	都城市教育委員会
1255	平野町遺跡	鎮西町教育委員会	1335	天神原遺跡	都城市教育委員会
1256	長崎県の貝塚と遺跡 城門時代のながさき	千葉県立加賀利根塙博物館	1336	鍛冶屋遺跡2	都城市教育委員会
1257	山中遺跡	壹岐綱土館	1337	肱穴遺跡	都城市教育委員会
1258	坂口館跡	大村市教育委員会	1338	久玉遺跡第5次発掘調査油田遺跡小坂原遺跡	都城市教育委員会
1259	富の原遺跡・大村館墓地・下荒瀬山下墓地	大村市教育委員会	1339	松尾城跡	出水市教育委員会
1260	富の原遺跡	大村市教育委員会	1340	平田尻遺跡	加世田市教育委員会
1261	帶取遺跡	大村市教育委員会	1341	椿ノ原遺跡	加世田市教育委員会
1262	原の辻遺跡	長崎県教育庁文化課	1342	志風頭遺跡・屋名野遺跡	加世田市教育委員会
1263	大宝遺跡	長崎県教育庁文化課	1343	後ヶ原A遺跡	垂水市教育委員会
1264	原の辻遺跡	長崎県教育庁文化課	1344	柊原貝塚	垂水市教育委員会
1265	閨縁遺跡	長崎県教育庁文化課	1345	小原野遺跡	大口市教育委員会
1266	興触川上遺跡	長崎県教育庁文化課	1346	郡山遺跡	大口市教育委員会
1267	原の辻遺跡	長崎県教育庁文化課	1347	新平田遺跡・辻町B遺跡	大口市教育委員会
1268	興触遺跡・興触川上遺跡	長崎県教育庁文化課	1348	川内市歴史資料館年報 平成9年度	川内市歴史資料館
1269	板切遺跡群(第I~V)・小原田遺跡	久住町教育委員会	1349	中津川遺跡	薩摩町教育委員会
1270	滝ノ原遺跡	大分県教育厅	1350	鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報 13	鹿児島大学埋蔵文化財調査室
1271	府内城下町遺跡	大分県教育厅	1351	若宮遺跡	鹿児島ふるさ考古博物館
1272	タ田遺跡群	大分県教育厅	1352	不動寺遺跡	鹿児島ふるさ考古博物館
1273	ナシカ谷遺跡	大分県教育厅	1353	老神遺跡	鹿屋市教育委員会
1274	堂ノ間遺跡	大分県教育厅	1354	暮小牧遺跡・山ノ上B遺跡	鹿屋市教育委員会
1275	大分県内遺跡発掘調査概報 7	大分県教育厅	1355	谷平(Ⅲ)遺跡・鹿野城址(Ⅲ)	鹿屋市教育委員会
1276	古国府遺跡群	大分県教育厅	1356	大橋田平・山之頭迫・松尾遺跡	鹿屋市教育委員会
1277	荏隈杉下遺跡	大分県教育厅	1357	鍋先遺跡	鹿屋市教育委員会
1278	龍頭遺跡	大分県教育厅	1358	小野原遺跡	鹿屋市教育委員会
1279	玉沢地区条里跡遺跡群	大分県教育厅	1359	中岡街道付星塙遺跡	鹿屋市教育委員会
1280	スポーツ公園内遺跡群発掘調査報告書	大分県教育厅	1360	真榮里貝塚発掘調査報告書	糸満市教育委員会
1281	小迫辻原遺跡 I	大分県教育厅	1361	大湾・古堅の民話	読谷村教育委員会
1282	馬姓遺跡北ノ後遺跡乙院屋敷遺跡	大分県教育厅	1362	読谷村立史民俗資料館紀要 第23号	読谷村立史民俗資料館
1283	中尾近世墓地	大分県教育厅	1363	読谷村立歴史民俗資料館年報 第24号	那霸市立壹屋焼物博物館
1284	大分県埋蔵文化財年報 7	大分県教育厅	1364	平成11年度 収蔵品展	

利用ご案内

開館時間 午前9時30分から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日
12月28日～1月4日

入館料 一般 200円(160円)
高・大学生 100円(80円)
小・中学生 50円(40円)
※()内は30名以上の団体料金



下関市立考古博物館年報 5 - 平成11年度 -

発行日 2000年3月31日
編集発行 下関市立考古博物館
〒751-0866
山口県下関市大字綾羅木字岡454
TEL 0832-54-3061
FAX兼 0832-54-3062
印 刷 有限会社アカマ印刷

